

令和4年度
市民と語る会報告書

令和5年3月
庄原市議会

令和4年度 庄原市議会市民と語る会報告書 目次

1. 開催趣旨	1
2. 開催地区、開催日時及び参加者数	1
3. 意見交換テーマ	2
4. 次第	3
5. 班編成	3
6. テーマの懇談内容	3～19
7. 意見交換	19～29
8. その他（自由意見）	29～33
9. 議会に対する意見・要望	34～35
10. 執行者に対する意見・要望	35～37
11. 市民と語る会の検証結果	38～42

〔参考資料〕 令和4年度 市民と語る会参加者アンケート集約 1～15

1. 開催趣旨

庄原市議会基本条例第5条第3項の規定に基づき、市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催する。
令和3年度より、「議会報告会」を「市民と語る会」に名称変更し、市民との意見交換に重点を置いた内容で実施する。

2. 開催地区、開催日時及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会場	参加者数	担当班
庄原	庄原	11月15日(火)	19:00~21:00	庄原市ふれあいセンター	22	1
	高	11月9日(水)	19:00~21:00	高自治振興センター	9	2
	本村	11月7日(月)	19:00~21:00	本村自治振興センター	6	3
	峰田	11月8日(火)	19:00~21:00	峰田自治振興センター	22	4
	敷信	11月2日(水)	19:00~21:00	敷信自治振興センター	15	1
	東	11月8日(火)	18:30~20:30	東自治振興センター	22	2
	山内	11月8日(火)	19:00~21:00	山内自治振興センター	14	3
	北	11月2日(水)	19:00~21:00	北自治振興センター	14	4
西城	西城	11月10日(木)	19:00~21:00	西城自治振興センター	24	2
	八銚	11月4日(金)	19:00~21:00	八銚自治振興センター	8	1
東城	小奴可	11月9日(水)	19:00~21:00	小奴可自治振興センター	15	3
	八幡	11月7日(月)	19:00~21:00	八幡自治振興センター	10	4
	田森	11月18日(金)	19:00~21:00	田森自治振興センター	11	1
	東城	11月11日(金)	19:00~21:00	東城自治振興センター	20	2
	帝釈	11月10日(木)	19:00~21:00	帝釈自治振興センター	22	3
	久代	11月4日(金)	18:30~20:30	久代自治振興センター	14	4
	新坂	11月9日(水)	19:00~21:00	新坂自治振興センター	14	1
口和	口和	11月7日(月)	19:00~21:00	口和自治振興センター	12	2
高野	高野	11月11日(金)	19:00~21:00	上高自治振興センター	23	3
比和	比和	11月1日(火)	19:00~21:00	比和自治振興センター	11	4
総領	総領	11月1日(火)	18:30~20:30	総領自治振興センター	21	1
一般会場 21会場 合計					329	
団体	庄原の人口問題をとことん考える民間会議(ひと部会)	11月17日(木)	13:30~15:30	庄原市役所	6	2
総 合 計 (22会場)					335	

【 年度別開催状況 】

年度	期間	開催時間	会場数	参加者数	班数
平成23年度	7月1日~21日	19:00~21:00	22	488	8
平成24年度	7月3日~20日	19:00~21:00	21	369	8
平成25年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	328	5
平成26年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	430	5
平成27年度	7月3日~24日	19:00~21:00	22	445	7(内特設2)
平成28年度	7月11日~21日	19:00~21:00	24	一般 375 特設 415 合計 790	8(内特設3)

年度	期間	開催時間	会場数	参加者数	班数
平成29年度	7月3日～8月29日	19:00～21:00	24	一般 427 特設 426 合計 853	8(内特設3)
平成30年度	7月3日～1月30日	19:00～21:00	20	一般 255 特設 293 合計 548	7(内特設2)
令和元年度	7月3日～19日	19:00～21:00	25	一般 329 特設 256 合計 585	7(内特設4)
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
令和3年度	11月1日～17日	19:00～21:00	21	一般 382 団体 15 合計 397	4

3. 意見交換テーマ

地域等	地区等	テーマの内容
庄原	庄原	議会と地域とのつながり
	高	① 地域生活交通 ② 物価高騰対策
	本村	共通テーマ
	峰田	共通テーマ
	敷信	生活交通（現在の市の施策）
	東	① 鳥獣被害に対する抜本的対策 ② 高齢化等による地域活動の限界、地域コミュニティの再編成
	山内	共通テーマ
	北	国・県道の道路施設の整備
西城	西城	① 美古登小学校と西城斎苑の跡地の利活用 ② 町内の廃屋の検討
	八銚	生活交通
東城	小奴可	共通テーマ
	八幡	自治振興に携わる人材
	田森	人口減少問題
	東城	東城のまちづくり（都市計画・防災・空き家・公園）
	帝釈	地域生活交通
	久代	① 和牛飼育農家の高齢化対策 ② 子育て支援策
新坂	集落の維持再編	
口和	全域	口和地域の廃校舎の利活用と維持管理
高野	全域	① 地域防災システムの構築 ② 地域社会の「福祉政策」
比和	全域	共通テーマ
総領	全域	持続可能な地域づくり
団体	庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会）	人口減少対策

※ 共通テーマ = ① 庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画 ② JR 芸備線

4. 次第

- (1) 受付（アンケート配付）
- (2) 開会（あいさつ）
- (3) 趣旨説明等
- (4) 前年度の意見・要望の対応状況報告
- (5) 意見交換及び懇談
テーマに関するもの及びその他自由意見（共通テーマを含む）
- (6) 閉会（あいさつ） ※開会后2時間を目安
- (7) アンケート回収

5. 班編成

班名	代表者（班長）	班員	担当会場 (自治振興区 21 会場、団体 1 会場)
1 班	赤木 忠徳	徳永 泰臣 藤木 百合子 國利 知史 松本 みのり	庄原、敷信、八鋒、田森、新坂、総領 (6 会場)
2 班	谷口 隆明	林 高正 宇江田 豊彦 政野 太 藤原 洋二	高、東、西城、東城、口和、団体 (6 会場)
3 班	福山 権二	堀井 秀昭 近藤 久子 五島 誠 前田 智永	本村、山内、小奴可、帝釈、上高 (5 会場)
4 班	桂藤 和夫	横路 政之 坂本 義明 吉川 遂也 坪田 朋人	峰田、北、八幡、久代、比和 (5 会場)

6. テーマの懇談内容

※以下の内容は、各班から提出された報告書に基づき作成しています。（左欄：参加者の意見等 右欄：議員の答弁）

【 庄原地域 庄原地区 】	
(1) 議会と地域とのつながり	
【 庄原地域 高地区 】	
(1) 地域生活交通	
<p>昨年に引き続き地域生活交通をテーマとしているが、利用者は子供と高齢者となっているために日常生活における交通手段の確保が大切である。マースについては少し無理があると考えているので、地域の実情に合った地域生活交通を検討する必要がある。客がない路線バスが基幹道路を走っているので無駄である。（約 5 億円利用して）これからの公共交通を検討している公共交通会議はメンバーからも地域交通の既得権を守るような会議になっている状況である。それぞれの地域の社会資源に合った方法を検討委員会などで検討してほしい。高地域では地域振興計画を策定するために色々な意見を聞いている</p>	<p>班長より、東城地域の MaaS（マース）実証実験の報告。</p> <p>高地域では市民タクシーが拡大している状況であるが、神石高原町においても 1 人 1 台の利用となっている現状で満足度は高い。事務局費の問題（自治振興区の対応が大変）、マースについては無理な地域があると認識している。</p>

<p>が、地域交通に対する意見として、免許返納や買い物などに対する不安が多く、自治振興区では対応できないが、高地域としては市民タクシーの拡大と柔軟な利用が良いと考えている。なお、通学についてはバス路線の確保が必要である。</p>	
<p>市民タクシーを利用したことはないが、バス料金と比較すると倍以上になるので時間調整しながらバスを利用している状況であると聞いている。（当面は、免許返納は考えていない）</p>	<p>免許返納に係る車の維持費等の関係や市民タクシーの料金についてご意見をいただきたい。</p>
<p>(2) 物価高騰対策</p>	
	<p>配布資料説明 交付金の活用は全国の事例の中から対応している状況である。</p>
<p>庄原市独自の施策はあるのか。</p>	<p>国の対応から漏れた「飼料高騰対策、子育て世帯支援金」等や事業名に庄原市からはじまる事業</p>
<p>国の制度を補完する市の制度などの見える化を実施してほしい。非課税世帯なども含めた経済や物価対応を。</p>	<p>限られた有効な財源を利用した対策が必要であるが、行政が主導するべきであるが市民の皆さんと一緒に対応する考え方も必要である。 食糧自給率を上げる必要があると考えている。（農地を維持し所得を得る取り組みが必要） 小さな財政力の庄原市であるので、市民の皆さんに満足を確認できる施策をどこまで実施できるのかは分からないが、各地域や市内全体で意見をまとめることが出来ればと考えている。</p>
<p>【 庄原地域 本村地区 】</p>	
<p>(1) 共通テーマ：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画・JR 芸備線</p>	
<p>統廃合の理由として人口減だと言われるが、これに伴い保育所統廃合も考えているのか。永末小学校は美湯ハイツで増えていると聞けが、高小学校はなぜ庄原小学校へ行く計画なのか。</p>	<p>現時点で保育所統廃合計画はないが、子どもが減少すれば考えていかなくてはならない。教育民生常任委員会で庄原小学校・永末小学校に訪問して状況を伺ったが、庄原小学校は新しく広い、永末小学校は少人数を想定された学校で、現時点でも児童が増え、改修等検討する必要があり、現状では高小学校が永末小学校へ行くのは現実的ではないと思う。</p>
<p>廃校になると地域に子どもがいなくなり、寂しさを実感している。子どもが地域の人と顔を合わせなくなる。単に学力だけでなく、本当に地域を守っていくか考えないといけないと思う。</p>	
<p>統廃合については、子どもが少なく団体スポーツが出来ないなどのデメリットばかり言われるが、財政的なメリットもあるのではと考える。統廃合に伴う財政効果はあるのか。</p>	<p>財政的な効果ではなく、子どもたちの教育環境のための統廃合と聞いている。</p>

統廃合も JR も地域をどうするかという同じ問題だと思う。人口減の対策が重要と言いながら一方では、学校統廃合などトンチンカンなことをされている。なぜ担当課で違う方向に進めるのか。	主体が違うという認識。教育委員会は統合。JRは廃線。残したいという市民の意見が多くある。そういった意識の違いがあると感じている。
三江線が廃線になった後の課題は何があるのか。	廃線後の管理が深刻。バスの切り替えなどされているが、バスの維持や草刈りなど課題があると伺っている。
【 庄原地域 峰田地区 】	
(1) 共通テーマ：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画・JR 芸備線	
適正規模・適正配置の適正の基準とは。	少子化をにらんで、今後の教育のあり方を考えた上での人数構成をするために学校を統合するという判断であったと考えている。
統廃合の問題は、教育的な観点での統合なのか。それとも財政的な問題か。	<p>一般質問でも議論したが、教育長は一貫して子供の視点での問題としていた。私の記憶では、財政的な問題だということの本会議では言われていない。</p> <p>教育長が再任される前に話をする機会があった。統合に関して費用面の効果もどこかで説明しなければならぬと問うたが、それは関係ないとずっと言われていた。現実的に、教職員にかかる人件費は県費のため、市からの支出ではない。あるとすれば、施設整備費のみ。前の計画が実施されたからといって、代わりにスクールバスやタクシーで余計に費用がかかることもある。費用面について試算することを提案した。</p>
何が適正かという議論をしっかりとほしい。小さい学校は不適切なのかといえ、そうではないと思う。現場の意見を聞くともっといろんな声が出てくると思う。	<p>中には少人数がいいという保護者もいるし、人数がいた方がいいという保護者もいる。私は大人数の学校だったので、私の感覚では人数が多いほうがいいのではないかと思うこともある。地域で分断が起きてはいけない。市教委も統合までの期間を設けないと決めたので、議論をした上で結論を出すべきだ。</p> <p>しっかりと議論をする中で、地域としてどうされるかを考えて結論を出せばいいと思う。</p> <p>教育委員会の方針が変わり、保護者の意見を聞いて統廃合を進めるということになった。無理な計画に乗るのではなく、地域で意思を統一し、協力しながら、学校を維持できないことになれば統廃合になるが、市教委と条件闘争をし、誰もが納得するような形でということを考えていく時間的な余裕もできたのではないかと思う。</p>
保護者、地域の同意がなかったら、統廃合はどうか。	計画が白紙になっていない以上、地域が統合に反対ではなくなった段階で、計画通り統合しようという方向となる。
【 庄原地域 敷信地区 】	
(1) 生活交通（現在の市の施策）	

MaaSについて教えてください。	MaaSとはフィンランドで開発され、移動サービスの一環で交通の効率化を目指している。 庄原市も実証実験を各地で行っている。マイクロバスやレンタサイクル等を利用し、AIを使いながら効率の良い利用しやすい地域公共交通を目指している。
敷信地域はとても広い、先ほど不便さは少ないと言われたが、実留などはとても不便であると思う。県道も何年たっても拡張されないし、住民は皆危機感を持っている。その辺の認識はどうなのか？	市はなくてはならないといった認識は持っている。
敷信は進んでいる地域もあれば、大変遅れている地域もある。道路整備も遅れ、生活インフラが遅れている地域で住民の不満もたまっている。	神石高原町は、住民の求めているものを早く把握され、毎年見直しをされている。
子供の人数も減り、高齢者の一人暮らし中心の世帯が増え、生活福祉バスに頼っている。合理化により、縮小となっていくことが、とても心配である。	神石高原町は、予約市民タクシーの利用が一番多い。片道上限900円でそれを超えた部分について町の負担で、利用者も増えている状況である。
生活交通だけではない、インフラを含めて、合理化ばかり追及してもらっては困る。	
芸備線の存続について議論がされているが、JR芸備線は乗り継ぎも悪いし、駅まで行くのにも不便で使いにくいと思うが？	不便で利用しにくいのは確かであると思うが、高校生の通学にJRがないと生徒はとても困る。 県立高校の存続問題にも関係してくるので慎重に議論すべきと思う。
MaaS実証実験について、現在、備北交通が主となって取り組まれているが、それをつなぐ仕組みオペレーターなどが必要なのではないか。	
【 庄原地域 東地区 】	
(1) 鳥獣被害に対する抜本的対策 ②高齢化等による地域活動の限界、地域コミュニティの再編成	
資料による令和4年度の各事業は、令和5年度も実施可能なのか。	令和4年度は申請時期が過ぎたが令和5年度もほぼ同じ内容の事業が実施される予定である。
市政懇談会でも意見したが、地域内の「禁漁区（県大の市道沿い、共同墓地の周り）」の見直しをお願いしたい。猟友会のみ対応可である。	林業振興課に話している。県議にもお願いしているが進展がない。（理由はわからない） 公園の中で繁殖していると思われ、公園内の被害も多い。（近隣地域にも被害が…。）
イノシシなどの動物も食べていけないといけない。木を伐採してから里山に出没するようになったがどのように考えているのか。	戦後、植林のため広葉樹林地へ植林したことや里山のバッファゾーンの木を切っている状況もあるが、海外（ドイツ）では小動物の食料を法律で規制（残す）している。（循環型林業の崩壊）
空き家の柿の木などの問題について、地権者調査や調整が難しい状態があるが…。	所有者の特定は近所の方に聞くことで連絡調整（近道）する必要があると思われる。

<p>空き家の地権者と連絡が可能であるが売買が成立しない実態がある。その理由として水田を含めての購入者がいないために問題となっているので市が対応を…。(宅地と家は買主がいる)</p>	<p>例として、非農家も含めて強制力のない共同作業(電柵と水路管理)を実施している状況であるので地域で話し合いをすることが必要である。(補助事業も創設されている)</p>
<p>抜本的対策について、庄原市議会としてどのように考えているのか。(地域での対応は実施)</p>	<p>「抜本的な対策」については難しい問題である。</p>
<p>高齢化により草刈作業も委託して実施している状況であるが、市として補助事業に日当を対応できないか。(里山を守る)</p>	<p>森林環境譲与税の活用がされていない状況。(積立)</p>
<p>鳥獣被害が増えているのか環境が変化しているのかの根本原因を調査研究する必要があると考える。(50年前は被害が無かった)</p>	<p>感想であるが、そのとおりであると考え。</p>
<p>(2) 高齢化等による地域活動の限界、地域コミュニティの再編成</p>	
<p>高齢化による地域コミュニティの再編成が必要と考える。その理由は、この度の配布資料と実態はかけ離れている状況がある。地域のことは高齢者が対応しているが、若者は住宅等に入居し、世帯分離も進んでいる状態で自治会に参加していないのが実態である。</p>	
<p>【 庄原地域 山内地区 】</p>	
<p>(1) 共通テーマ：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画・JR 芸備線</p>	
<p>適正配置は無茶な計画を立てたのが間違いだった。小規模校のデメリットばかりをあげていた。JR 西日本は高飛車に国に押し付け、国に叱られたと聞いている。在来線を粗末にし、便利を悪くしたのは JR。地域は草刈りなどしている。大事な路線を無くすと後に後悔することになる。昔は便利が良かった。誰が悪くした。JR も考えてほしいし、議会、行政も声をあげてほしい。</p>	<p>議会も基本的には同じ意見。芸備線を守ろうとしている。地域の皆さんの議論の結果で今後 どうしていくかということになる。適正配置の件も関係地域の皆さんの合意形成があって、寄り添って実行するものだ。</p>
<p>適正配置計画は4年かかって、地域の皆さんの声があり止まっている。なぜ最初からそう出来なかったのか。まちづくり基本条例はまちづくりの最高規範であり、議会も全員賛成であった。市長は市民の権利を守らなければならないはずだ。計画の見直しは出来たが、4年も無駄な時間を過ごさなくてよかったのではないか。基本に立ち返り市政に反映されるべきだ。市は分かっていない。議会もしっかり監視すべきではないか。</p>	<p>まちづくり基本条例、議会基本条例に基づいて活動している。適正規模適正配置基本計画においても付帯決議を付けている。市も議会も基本的には条例に基づき運営している。</p>

<p>第一計画の統廃合になっていない学校は全くストップしているのか。統合されていない学校を説得出来ていないのに、第二計画対象校も納得できないと思う。しっかりした方針で、綿密な計画や話し合いが必要。</p>	<p>統合していない小学校はストップしている。令和4年度16名、令和10年には9名になるとのこと。どこかのタイミングで話していかないといけないと個人的に思う。保護者の意見、地域の意見、様々あると思う。最終的に多数決で決定する。庄原市だけでなく全国的に少子高齢化が続き、出生率が下がっている。文部科学省は統合を進めていないが、広島県は進めている印象がある。教育委員会も強制することは絶対にない。議会も議論に参加している。</p>
<p>4年前の適正再配置基本計画のアナウンスがあまりに強烈だった。自分はこういう会に参加しているから計画について分かっているが、一般の保護者は分かっている方もいる。PTA役員から伝えるようにしているが、行政から現状をアナウンスしてもらえれば理解出来るのではないか。</p>	
<p>【 庄原地域 北地区 】</p>	
<p>(1) 国・県道の道路施設の整備</p>	
<p>小学校を統合するのに道路の整備ができていないのはまずいのではないかと。とりわけ国道の整備ができていないのはまずい。なぜ道路も含め、総合的に話が進まないのか。通学を考えても交通量が多い。小学校の統合と道路整備が同時進行できていないのはどうなのか。</p>	<p>土地の地権者との折り合い等、ハードルもある中で、アンバランスが起きているのではないかと。</p>
<p>川手地区において庄原市の都市計画はどうなっているのか。目先の話し手ではなく、総合的なまちづくりをやっていかないといけないのではないかと（ここは家、ここは道路、ここは病院等）。</p>	<p>議員の間ではそのような具体的な議論まではいっていない。質問をしても執行者から明確な答弁はないが、庄原市の今後のまちづくりを考えると議論をしていかなければならない。</p>
<p>まちづくりの方向性を決めていかないといけない。有事の際も考えて都市計画を作るべきである。</p>	<p>旧庄原市なのか、周辺までなのか、想定範囲もあいまいである。今後のまちづくりについて、執行者の答弁もはっきりしていない。問題意識は持っているので頑張っていきたい。</p>
<p>国道432号線の川手地区についての要望。土地の折り合いの理由等を地元議員にはつかんでほしい。歩道をどのようにつけるのか。また、国道の車道の幅が狭いため、バイパスの早期建設が一番良いのではないかと。</p>	<p>地元住民の折り合いなどの話は私の想像である。頑張っていかなければならない。張り出し歩道の件は、許可が下りないのでできない。</p>

<p>北地区では、新しい学校を作る計画をしている。その中で危険な道があるのは良くない。よそから人を集めようとしているので、それも考えてほしい。庄原市民だけを見てやっても意味がない。JR もよそからの利用者を数えないといけない。三郷町は補助金なしで、自力で頑張っている。他市の人を引き込んでいく施策をしてほしい。住民主導のみでなく、人口を増やすのだ！というような市も強い目標を立てて欲しい。</p>	<p>県道の改良は、JR との兼ね合いもあった。土地の兼ね合いは、地元ですべて折り合いをつけて県に持って行った。ここまでやらないと県も動けないと言っている。地元の理解を得ないと進まない。</p>
<p>【 西城地域 西城地区 】</p>	
<p>区長からテーマ設定の趣旨説明</p>	
<p>(1) 美古登小学校と西城斎苑の跡地の利活用</p>	
<p>美古登小学校（休校）の活用について、地元自治会（4 つの自治会）で検討したが、規模も大きく断念した経緯がある。</p>	<p>今後、施設の活用については、市が活用を検討→地域で活用を検討→民間で活用（売却含む）→除却の流れで整理することになる。国道沿いの有利な施設でもあるが、他地域と同様に難しい状況も理解できる。</p>
<p>美古登小学校は、「休校」なのか「廃校」なのか。（管轄が違う）</p>	<p>現在は「休校」扱いとなっており、教育委員会が管理している状況である。</p>
<p>適正規模・適正配置計画において、他の小学校よりも児童が多く複式ではなかったのに、何故第 1 グループに入ったのか（児童数 62 名）。また、今年 1 月に計画の見直しをされ、栗田小も含めて延期されたが理由が分かれれば教えてほしい。</p>	<p>再配置については、児童数の将来推計により計画が策定され実施されていると考えており、栗田小学校については、説明会を拒否されたことや第 2 グループにおいても地域との話し合いがつかないこと。市議会としても付帯決議をしたり、市長が教育会議においてもう少し慎重な検討ができないかとの意見をされたことから、延期するとの見直しがされた状況であるが、計画が大きく変わることはないと考えている。なお、教育民生常任委員会としても地域特性があることから、決めつけた考えを止めるとの中間報告をさせていただいた状況である。</p> <p>※確認：意見の中で、令和 3 年 3 月に第 1 グループの統合が実施され、同年 6 月には、計画の見直しが広報されたとの発言があったが、正確には、統廃合後、令和 3 年 6 月の教育総合会議で市長が意見され、翌令和 4 年 1 月に計画見直方針が検討され、令和 4 年 6 月の広報で計画見直しの周知が行われている。</p>
<p>西城斎苑の廃止については、当時住民説明が行われ周知されたにも関わらず、廃止の時期になって、再利用に関する署名活動が一部の役員の決定により実施されたことについてどう思うか。</p>	<p>西城以外の議員が意見することは難しい。</p>

<p>粟田小学校の問題であるが、田森地域は若い方が増え、児童数も増加していると聞いている。統廃合の問題を考える時に、人口を増やす取り組みが欠けているように思うがどのようにお考えか。</p>	<p>田森地域については、人口が増えているとは聞いていない。また、粟田小学校については、児童数は減少しているのが実情である。現に、今年の入学は1名であり、今後もその状況が続く予定である。統廃合について保護者と面談したが、粟田小学校に行かせるかどうかの判断は誰の気持ちを考えて判断すべきなのかということで、保護者として教育委員会と協議をしたい意向がある。現在は、自治振興区が窓口として教育委員会との協議の中で進められているとのことである。</p>
<p>美古登小学校に限らず各廃校施設について市も地域も活用案がない場合には財産価値があるうちに売却(競売)した方が良いと考える。人口も増える可能性もある。</p>	<p>公共施設の総合管理計画において、公共施設を管理しているが、25年間で25%減らすことを考えており、地域でも活用を検討して頂ければと思う。</p>
<p>(2) 町内の廃屋の検討</p>	
<p>町内に廃屋が増えており、中には道路に面して危険なハイオクも存在する。個人の所有であり対応が難しい。どのようにすればよいか課題である。</p>	<p>市も空き家対策の計画や条例を制定して取り組んでいるので、そのような取り組みをされているのか報告をいただきたい。廃屋も所有者に権限があり、相続放棄も可能であることや除却したいと考えても経費が問題となるケースも見受けられる。(銀行融資も年齢規制等がある)</p> <p>災害のことを考えた時には代執行しかないと思うが、工事代金を請求しても支払われないケースが想定される。専門家に相談することしかない。</p>
<p>【 西城地域 八針地区 】</p>	
<p>(1) 生活交通</p>	
<p>救急で西城市民病院に運ばれても、帰りの交通手段がないのが現状である。現在は「暮らしと安心の会」が自分達車で対応しているが、高齢者世帯や独居世帯で自家用車を持たない者にとっては今後も大きな課題となってくる。</p>	
<p>西城の市街地と山間地集落を結ぶ生活交通が、不足している状況にあると考える。</p> <p>現在、他の地域では、MaaSの実証実験等進められているが、本格導入には、まだ時間がかかると思う。</p>	<p>MaaSの導入、実用化にはまだ時間がかかると思われる。神石高原町が導入している予約市民タクシーが参考になると思う。</p>
<p>神石高原町の取り組みが、八針地域には合うのではないと思う。バスはあっちこっち寄っていくので西城市街地まで一時間以上かかる。</p>	<p>神石高原町の場合は、町とタクシー会社とのやりとりで、タクシー事業の安定化も図られている。事業実施においては、常に見直しを重ね、現在は以前のバス利用が主の時と比べ、財政負担もとんとんとなっている。</p>
<p>現在の地域生活交通体系を一旦白紙に戻して、一步一步議論を積み重ねていくべきと考える。合併時はまだ人口も多く、これまでの交通体系でも良かったが、時代背景も変わり見直す時期がきている。免許の返納をしたらどう</p>	<p>どの地域に行ってもこの問題が出る。早急に委員会としても取り上げ、解決策を促してしていく。</p>

なるか不安である。	
免許返納者は、身体のどこかが悪いから免許返納するものであり、歩いてバス停にまで行くことが大きな負担となっている。デマンド交通的な交通体系が早急に必要である。	
【 東城地域 小奴可地区 】	
(1) 共通テーマ：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画・JR 芸備線	
<p>芸備線について、沿線の市民のひとりとして、このままでいいのか考えるようになった。採算取れないところは企業として打ち切りは明らか。昔は備後落合東城間の乗車率は100%だった。乗車していない光景を見ると寂しい。乗りたい気持ちはあるが、買い物して重い荷物を持って歩くより利便性の良い車を選んでしまう。比婆山東城間は土砂崩れなどがあり、維持管理費が多くかかるのも十分分かる。店、スーパーに募金箱がある。乗りたいが乗れない人の支援策として「芸備線乗ったつもり募金箱」を設置したらどうか。生活利用者が増えることは今後ないと思う。利用者数を増やすために子どもや学生、高齢者団体に活用してもらえばどうか。</p>	
<p>芸備線を利用して高校に通っていたが、小奴可から東城に乗る生徒は7時では早く着きすぎ、帰りは19時半で遅い。利用しやすい時間にした方がいいと思う。</p>	<p>東城～新見に通勤、通学している方も多く、そこに合わせれば小奴可は早く出るようになる。どの時間帯に合わせれば良いかは JR も考えている。いかなる過疎地に暮らしていても、国は生活できるようにするのは当然のことで、採算が合わないなら国が支援するのは当然。上下分離方式にしているところもある。ひとつの方法ではあるが、そこにいくまでに地方のローカル線を守るために国を動かすことが今一番必要ではないかと思う。根本的な解決策は国に抜本的な支援をもらい、地方はダイヤの要望など努力していく必要がある。</p>
<p>高校へ芸備線に通っていた。備後落合あたりの景色はスリルもあり、素晴らしく、残してほしい。しかし地域の人は必要ないから乗らない。一人一台車社会。過疎化が問題。存続の前に人口が増えれば利用者も増えるが増えるわけなどない。愛着があるが、採算が取れないなら廃止してバスの便利を良くするとか乗り合いタクシーとか、発想を変えないといけないのではないか。</p>	<p>以前は廃線もやむを得ないと思ったことも一時あるが、守れるのであれば歴史ある芸備線を守りたいと思っている。一番たくさん乗っているのは高校生。それぞれの地域から通う子がいるので、代替バスで解消出来るかは難しい。高校の存続にも関わってくると思う。</p>
<p>何十年ぶりに庄原～小奴可間に乗った。比婆山から谷、山、川とあるたびに徐行するため、時間がかかりかった。将来免許を返納したら自分はどうなるのか不安。JR とバスの接続の便利が悪いから乗らないのでは。庄原、三次に行くのに、小奴可で利用出来ない。備後落合まで歩</p>	<p>列車へ接続させるバスを運行したら芸備線利用者が増加したとイベントで新見市の発表があった。全ての便への対応は難しいので、通勤、通学、買い物などニーズを絞って時間調整してもらわないと、全て満足出来るような改革は難しいと思う。</p>

<p>くと2時間20分。年寄りには無理だ。市が補助金を出している備北交通にバス運行してもらえないか。JRとバスが連携すれば良い。抜本的な対策をしないと乗らない。</p>	<p>広域ネットワークの会議など、存続に向けて議会も議員個人もしっかり動いている。</p>
<p>【 東城地域 八幡地区 】</p>	
<p>(1) 自治振興に携わる人材</p>	
<p>人材はいるが、役員をやりたいがらない。今は同じ人が担っている。役員が回ってくるなら組を抜けるという人がいる。また、定年延長の影響で（市役所勤務の人などで、定年後若い人との齟齬ができたりして）難しい状況が生まれている。</p>	<p>どの地域も同じような状況になっている。どうすればよいか。決め手がない。</p>
<p>【 東城地域 田森地区 】</p>	
<p>(1) 人口減少対策</p>	
<p>庄原市の人口減少問題について、どのような対策を行っているのか。</p>	<p>庄原市の予算は全て人口減少対策に関連していると言ってもよい。その中でも本年度は庄原ファンクラブを立ち上げて、関係人口、交流人口を増やす取り組みを進めている。</p> <p>空き家対策が必要であると感じている。住める空き家を増やす事に力を注いでほしいと声を出している。</p> <p>地域に小学校が無くなれば人口減少は進むし人は来なくなる。</p> <p>インターネットで授業が出来る昨今においては、やり方によってはいろいろな可能性が考えられる。</p>
<p>人口減少対策をこれからやっという定住化と話をしているが、まずは水などのインフラ整備を行わないと人は入ってこないと思う。議会はどのような対応をしているのか。</p>	<p>全てを上水にすることは難しい。井戸水や山水といったような環境が気に入って移住してくる人もいるので、個人的にはマッチングする方法を考えていく必要があると感じる。私も移住してきたが、以前住んでいた地域も水道は無かった。それでも人は入ってくる。</p> <p>インフラなどの整備については、十分とは言えないと思うが補助金がある。</p>
<p>日本の国には夢が無い、夢が持てない。JR存続問題、JAの統合、飼料高騰、など様々な問題があり夢が持てない。人口減少対策として、行政はしっかりとした明確な目標が無いのが問題である。東京のふるさと回帰支援センターへ、三次市はPRに行っている。庄原市は行っていない。その辺りがもどかしく感じる。議員は執行者に、人口減少対策に関して何をやりたいのかどうするかをはっきりさせていく必要があるのではないかと感じる。しっかり執行者に言ってほしい。もう少し住民に親切にしてほしい。</p>	<p>職員からのアイデアも出てこない。一つのアイデアが何かのきっかけになれば、一つの繋がりになるのではないかと感じる。</p>

人口減少問題が最重要課題というが、今の状況で対策をしていると言えるのか。予算が少ないのであれば、予算内で優先順位を付けて、目標を設定して対策を行うべきではないか。目標を立ててやらないと効果があったのか無かったのか分からない。	議員には予算執行権は無いのでこの思いを執行者に届けていく。今後の私たち議員の動きを見ておいてほしい。
田森地域では神楽に力を入れている。この比婆荒神神楽をユネスコ無形文化遺産への登録を目標に活動している。文化庁とも話をしているが、まちづくりに繋がる事なので庄原市として動いてほしい。	この度の市民と語る会で、文化財の保存や活用については他の地域からもご意見を頂いている。教育民生常任委員会で議論していきたい。
自治振興センターの予算について、職員の待遇面が極めて悪い。市はどのように考えているのか。自治振興区に仕事を投げる。特に社会教育関係は丸投げにされている。これでは人作りは出来ない。この状況を議員にも理解してもらいたい。また自治振興区の再編の話も聞いたがどういことなのか。	再編の話は今のところ聞いていないので確認する。職員の処遇改善については引き続き検討していきたい。
比婆荒神神楽の看板を設置するために、自治振興区活動促進補助金を申請したが採択されなかった。伝統文化である特徴的な比婆荒神神楽をPRするための予算を付けてほしい。	ネーミングやPRの看板はその地域の土地をイメージさせるには大切である。執行者に声を届けていく。
バイオマスの裁判の件で、市に対しても不信感を強く持っている。それを整理して払拭してほしい。なぜ裁判費用に市民の税金を使わなければならないのか。	裁判と議会とは別問題であるという考えである。議会と裁判は一緒になっては行けない。
広島県と島根県の7市5町が加入する神楽町おこし協議会に、なぜ庄原市は加入していないのか。協議会に加入すると援助も多いので、是非加入してほしい。	
夢が持てるまちづくり、持続可能なまちづくりを行ってほしい。	
【 東城地域 東城地区 】	
(1) 東城のまちづくり(都市計画・防災・空き家・公園)	
以前、コンパクトシティ構想(小さな拠点)がマスタープランに変わった感じを受けたが、中心市街地に誘導する考えではないのか。河川整備などの防災の観点からまちづくりをするのであれば良い。	本市にコンパクトシティ構想があったとは感じていないが、冬季に安心して生活ができる冬季安心住宅の整備などが本市のコンパクトシティ構想だと認識している。もちろん都市計画の設定がない口和・高野・比和などを切り捨てなどはできるわけがない。今回は都市計画法に基づくプランづくりであり、中心市街地への誘導するものではない。なお、東城地区には公園がないとの話を聞くことがあるが意見を聞きたい。
都市計画審議会に参加して東城自治振興区に公園がないとこだわるのは、東城を訪れた方から公園のことを尋ねられることがある。その公園も防災上の目的を持った公園が望ましい。	避難場所等の検討も必要であり、公園の機能や必要性なども十分検討する必要がある。
東城地域の避難所は中学校で、毎年数回案内があ	

<p>る。川西地区は氾濫している河川を渡っていくしかない。</p>	
<p>川西地区に避難所がほしいと考える。スーパーやコンビニも川東地区にある状況である。また、土砂災害危険区域に指定されていることあるので避難所の新設をお願いしたい。</p>	
<p>防災と公園の話になっている危険区域内に避難することで済んでいる状況である。公園については、川西地区にある城山を公園や避難所として活用できないか。</p>	<p>城山の管理は広島県が行っている。文化財も多いが、土砂災害危険区域であることから防災上の活用できるかどうかは疑問である。</p>
<p>以前、河川の近くに住んでいたが現在は家も崩して他な場所に住んでいる。その地域で避難する場合河川を渡る必要があるため橋梁を改修してほしい要望しているので対応をお願いする。</p>	<p>要望は、執行者に伝えていく。</p>
	<p>川西への公園や避難所、城山の活用の話をついた。城山の一部で階段や手すり、駐車場の整備も実施されたが、安全な場所がない状況である。浸水想定区域のことも考えると避難所の設置は難しいと考える。国道314号の開通後に総合的に考える必要性を感じた。</p>
	<p>総論的なことになってしまうが、東城地域のネックは町の中を河川が流れていることだと感じている。河川にある「甌穴」を残しながら河川の整備は難しいのではないかと感じているので、国交省を中心とした丁寧な協議の下で方向性を決める必要がある。</p>
	<p>この東城自治振興区は本市で2番目に大きい地域であるので、一つの第一避難所だとするのは無理があるのではないかと感じているので勉強したい。なお、公園については若い子育て世代の熱望であったと思うので防災と関連付けての整備案については若い世代の方の話も聞いていただきたいと思う。また、東城の各地域（八幡・小奴可など）でも公園の要望がある中で今回のマスタープランの話があるのと放課後児童クラブの新たに設置する検討委員会も立ち上げられているので東城に子育てゾーン（他ショッピング、医療など）を作ることも検討されているので意見を聞いていただきたいと思う。</p>
<p>要望としては、水道が整備されてキャンプでも可能なイメージを持っているが、防災機能もあれば良い。</p>	<p>本市の公園については、大きな備北丘陵、上野総合公園、東城には運動公園がある。その他、街区公園や児童公園が設置されている状況である。</p> <p>要望の公園に遊具が必要なのか、緑地スペースが必要なのか等の要望内容が不明ではあるが、新たなゾーンを作るとなれば調整いただきたいと思う。</p>
	<p>少子高齢化や人口減少、施設の維持管理のことも検討する必要がある。</p> <p>H30年度災害を体験し河川改修する計画について、関係者に説明されている状況で、甌穴のことも整理した上での計画となる見込みである。</p>

【 東城地域 帝釈地区 】	
(1) 地域生活交通	
<p>休日の部活動送迎の保護者負担が大きい。東城高校に地域から通う子はゼロ。子供の将来、進学など、保護者には様々な思いがあるが、18歳まで一緒に価値のある時間を過ごせるのは東城高校しかない。土日の交通網を復活し、住みやすい地域にしたい。保、小、中、別便のバス3台では市の負担が大きいので、1本にして、土日の運行に経費をまわしてもらいたい。一般利用も需要があると思う。JR 芸備線の利便性も悪い。芸備線とバスは、別々でなく総合的に考えて連携を取ってもらいたい。中高生7時25分、小学生7時35分、保育所8時30分、朝は1本に出来ると思う。帰りは部活動や下校時間が違うので難しいとは思いますが考えていただきたい。</p>	
<p>MaaS 事業について、家の近くまで来て頂けることは大きなメリットで、大変喜ばれている。免許返納者はタクシー券の配布を希望している。数カ所の自治振興区で車を所有し、共有、協働するなど、新たな交通システムの構築が出来ないか。様々な問題があると思うが、停留所まで出られない。MaaSのようなモデル事業の実証実験を繰り返し運行してほしい。</p>	
<p>問題は自分で運転出来ない方がどうするか。子ども、高齢者がいつでも動けること。備北交通は時間が決まっている。タクシーはいつでも動けるが、費用がかかる。どうやって捻出するか。備北交通への行政の助成は、本当に費用対効果があるのか。備北交通にタクシー運行してもらえれば全て解決すると思う。JRは国へ要望しているが、県も市も相当な費用を捻出するなら、タクシーに変えてほしい。帝釈にタクシー会社があればいいが、議員から行政にしっかり提案要望してほしい。自分が行きたい時に行きたいところに行けるのが一番良い。時代に合わせて過去のきまりに囚われず、新たな発想で臨んでほしい。</p>	<p>合併以前から芸備線を守る申し合わせがある。市として守る。それぞれの地域の利便性を良くしなければならない。芸備線は残す方向で動いている。バス、タクシーも同じ。計画する担当者が地域をよく知っていれば良いが、全ての地域は難しいので、地域の方のご意見をしっかりあげてほしい。全国的に公共交通は難しい。議員も勉強しているが、地域の実情が違うので、地域に合わせた交通網を考えなくてはならない。</p>
<p>庄原市は近年、高齢者のタクシー券を減らしており、利用者が困っている。出掛ける楽しみであるタクシー券を減らさないようにしっかり配布してほしい。利用券を配る自治振興区が言いづらい。こちらにしわ寄せが来るのはおかしい。利用者にはっきりと市から伝えなくてはいけないと思う。金額、枚数、仕組み、発信法を考えてほしい。</p>	
【 東城地域 久代地区 】	
事務局よりテーマ設定の趣旨説明	
(1) 和牛飼育農家の高齢化対策	

<p>昨今の飼料高騰など、酪農家を取り巻く状況に加え、比婆牛の状況など先行き不透明な状態では酪農家がいなくなってしまうのではないかと心配である。それをどうやって対策するのか、大きな法人化、若い人を育てるなど、かなりの補助、支援がないとできないと考える。後継者育成をすることが必要である。市が大々的にやるしかない。</p>	<p>庄原市の和牛振興のゴールをどこにもっていくのか定めることが必要である。和牛振興に特化した地域おこし協力隊など、具体的な方策も考えていかなければならない。</p>
<p>(2) 子育て支援策</p>	
<p>人口減少対策が課題。人口減少が鈍化している地域では、思い切った施策をしている。庄原で子育てをしてみたいとするための話し合いをしていきたい。</p>	
<p>子育てに関して経済的な支援が大きいのではないか。出産一時金も大切だが、長いスパンで支援してほしい。</p>	
<p>【 東城地域 新坂地区 】</p>	
<p>(1) 集落の維持再編</p>	
<p>新坂自治振興区には3つの支部と10の行政区がある。その内1、2の行政区では冠婚葬祭もできない状況となっている。昨年、専門部の役員体制の見直しを行い、来年度から新しい体制が始まるが、集落の維持が厳しく、行政区の再編を考えねばならない。自治振興区の維持については検討中である。行政サイドの方針との意見一致が必要だが、今後の方向性をどう考えるか？</p>	<p>他の自治振興区においても役員のなり手がいない状況も見受けられる。自治振興区の存続について、議会でも取り上げていかなければならないと考える。</p> <p>行政サイドの方向性も必要ではあるが、自主・自立の立場から、まずは住民の思いが重要であると考えます。</p>
<p>【 口和地域 口和地区 】</p>	
<p>(1) 口和地域の廃校舎の利活用と維持管理</p>	
<p>区長からテーマ設定の趣旨説明</p>	<p>地域担当議員による問題提起（担当者：藤原）</p>
<p>廃校舎の放課後児童クラブとしての活用は令和5年度からと伺っているが、誰がどのように進められているのか。</p>	<p>議会に説明がないので回答ができないが早期に対応すべきである。一般的に①市が活用、②地域が活用、③民間での活用、④除去となる。</p>
<p>施設は、既に廃校となっている状態で、避難所として指定されているが、掃除等どのように考えられているのか。</p>	<p>日常的に利用できるように管理すべきであるが、実態として管理できていない状況なので議会としても共有したい。</p>
<p>「口北小学校のこれからを考える会」としても色々な案を検討したが現実的には難しいと判断している。コミュニティーセンターは土砂災害危険区域に指定されたことから利用が難しく、旧口北小学校の活用については、音楽室と大人用トイレを改修して放課後児童クラブとして活用すると聞いていたが適正化法の関係で遅れている。体育館も指定避難所として活用するならテレビやエアコンなどの整備や管理が必要ではないか、グラウンドなどの草刈りも保護者が実施しているが将来的には難しいと考えているので施設管理をお願いしたい。</p>	<p>思いを伝える。</p>
<p>廃校舎の活用については難しい問題であるので、全国の事例を調べて対応してほしい。</p>	<p>全国の事例もあるが、口和地域の声を要望書や請願として提出して頂ければ、議会も関わっていける。</p>

<p>市内の廃校となった小中学校の活用などの情報があるか。(三坂・川北・八幡…)</p>	<p>色々な噂はあるが議会へ報告された事案は無い。</p>
<p>郷土資料館の展示物の保存も含めて、旧口北小学校の活用の方向性を、文化財保存としてのトータル的な考え方は。</p>	<p>教育民生常任委員会としても視察しており、館長の意向として現有施設を活用したいとの思いから、施設を整備している状況である。</p>
<p>館長の考え方もあると思うが、長い目で考えた時に、市として旧口北小学校を活用することも一つの考えとして検討してほしい。</p>	<p>郷土資料館も展示物が数多く、現有する資料のコンセプトを定める必要も感じている。特筆すべき音響や生活文化をどのように活用するのかを旧口北小学校の活用も含めて検討すべきと考える。</p>
<p>【 高野地域 高野地区 】</p>	
<p>(1) 地域防災システムの構築及び地域社会の「福祉政策」</p>	
<p>自治会役員は2交代代なので、地域防災の10年20年先を見据えて防災士を各地区へ配置したいと考えている。今年は2名取得した。社協の配食サービスの規制で配食してもらえない方に、昨年、連絡協議会で配食サービスについて協議してきたが予算がなく出来ない状況である。必要経費は車、人件費、ガソリン代など概ね90万円かかる。</p> <p>「なんずかんずつながる会」で困りごとアンケートを実施し、75歳以上の配食希望者は18名位で少ない。しかし、困っている方をどう救うか。料理教室で月1回お好み焼きを配っているが、そのくらいしか出来ない。せめて週1回程度配りたい。1回10人位6地区でやった。買い物に行けない、交通の便がないと頻りに聞く。世話役が高齢化でサロンを解散するような状況である。車両についても陸運局が地域交通事業者を心配されるが、そこを変えてく時期にきていると思う。</p>	<p>考えられる方法としてはサービスを必要としている方を把握し、自治会運営費へ組み込んでもらうよう担当課へつなぐ。「たとえ乗らなくても定期的に動く交通機関がある安心感」か、「きちんと利用する交通機関」か、地域がしっかり協議して提案していかななくてはならない。</p> <p>庄原市全体でどうするか、市でやるべきことを地域にやってくれという状況がある。地域活性化として地域が意見を出していけば行政はやらないということはない。</p>
<p>制度で守られている人はいいが、困っている人、住んでいる人、行政は制度の谷間にいる人を救えないといけないと思う。自治会も高齢化で運営が厳しく運営費は削られる。社協の配食では介護保険申請していない人、見守りの必要のない人が漏れている。</p>	
<p>自治振興区運営資金は、ほとんどの地域が人数割になってきている。人数割にすると運営出来なくなる。現状では区費を1戸3000円集金しており、集めないと運営が出来ない。自治会の人数が少ない。市内は市民会館もありロビーコンサートも行けるが、町で文化的な活動などやろうと思うとお金がかかるので、市で予算を確保してほしい。</p>	<p>地域の問題、要望をしっかりと議論されて、議員も一緒に行政へ繋ぎ、頑張りたい。</p> <p>デイホーム事業で一人当たり400円の補助金が出る。みんなで手作りして食べましようという会を私たちの地域ではやっており、元氣の確認が出来る。市からの補助金なので、残額は返金しなければならないが、3人のスタッフがいれば可能。東城ではコンサート実行委員会を作り招致した。実行委員会の立ち上げに向けて動かれたらいいか。市民会館へ相談し、高野に来てもらうことが出来ると思う。</p>

グループホーム、シェアハウスなどあれば、一人暮らし高齢者は安心出来ると思う。	市内は愛生苑に集合住宅がある。高野は高齢者生活福祉センターがあり、冬期間と通年利用が出来る。
【 比和地域 比和地区 】	
(1) 共通テーマ：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画・JR 芸備線	
バスの連絡について、庄原へ行ったあと、帰りの時間の便利が悪い。	どの地域でも聞く。市も対策を検討している最中である。時間はかかるが、ある程度の方向性が出ると思っている。声を上げ続けてほしい。
【 総領地域 総領地区 】	
(1) 持続可能な地域づくり	
前回、若者定住住宅について、10年経過したら家賃が元に戻り高くなることについての意見を述べ「今後議論していく必要がある」との回答を聞いたが、その後の経過について伺う。	議論はなされていない。
人口減少対策としては、地域に残ってもらう取り組みが必要と考える。外から移住して来られる方に対して、中から出ていく人が圧倒的に多い現状がある。地元の子供達に地域を知ってもらうことを、市全体として取り組む必要がある。今回のテーマは非常に大きいものであるが、地域に住んでいる方が安心して住み続ける為のきっかけになればとの思いでテーマ設定した。	<p>地元の高校生への働きかけ、地域を好きになってもらう取り組みについては同感である。</p> <p>先日、商工会議所との協議の中で、「仕事はあるが、うまくマッチングが出来ていない」と言うことが分かった。若い方に残ってもらうためには、仕事のマッチングを考えていかなければならない。</p> <p>帰ってくる時点で、住むことができる住宅が確保されていることが必要だと思う。</p>
公共交通については、地域の皆さん、特に高齢者はバス停までの移動や買い物後の移動などが、大きな負担となっている。ドア to ドアの要望が大きくなっている。	現在、M a a s の実証実験も行われているが、すぐに実用化とはいかない状況である。現在の公共交通は合併前のシステムを継承したものが多く分かりにくい。今後、地域の実情にあった交通体系を組む必要がある。
【 団体 庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会） 】	
(1) 人口減少対策	
<p>ひと部会長よりテーマ設定の趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口問題をとことん考える会（ひと部会）を4年半活動してきた。 ・庄原市の人口減少課題は大きな課題であり、厳しい状況にある。 ・議論や意見交換をしてきたが、成果が見えてこない。 ・庄原市の10年後20年後を考えたとき存続さえ危ういと感じる。 ・オール庄原での取り組みが十分ではない。 ・人口減少対策の取組の課題は ①取り組みの成果が不十分 ②取組の体制が不十分 ③要因分析と目標、評価の手法が不十分 ・庄原市の人口問題をとことん考える会議は、オール 	

庄原体制として108つの提言を行ったが、これらの取り組みについても情報が不十分であり、市民に見えてこない。	
あきらめないで取り組むことが大事である。	
小さなことから積み重ねを行う必要がある。	
10年後の不安が大きい。議会としても団結して取り組んで欲しい。	
単身赴任で庄原に来て3年。自家用車を持っていない生活が不便という感覚は持っていない。大学設立時800人いた学生が、学部編成によって3割減となっている。学生に地域との連携を進める事で庄原の良さを知ってもらう必要がある。	
きっかけを与える事が帰ってくる事、帰郷定住に繋がると考えている。	

7. 意見交換

【 庄原地域 庄原地区 】	
<p>3点申し上げたいことがある。1点目、今後も永末小学校の児童数の増加が見込まれているが、教室も狭く老朽化が進んでいる現状をどのように考えているのか。2点目、放課後児童クラブは、部屋が一つしかない。利用登録者が昨年の段階で50名を超えている。こちらについても実態調査と早急な施設拡充をお願いしたい。3点目、市の調査では、永末小学校区内の未就学児が90名以上いるが、75名以上の子供が他の地域の保育所に通所している。これは、永末保育所がへき地保育所のため、3歳未満児の受け入れが無いからではと推測できるが、7月の現地視察の際にどんな課題を見つげられたのか。</p>	<p>もともと永末小学校はへき地対応の少人数小学校として建設されたもので、実情に合っていない。体育館のフローリングなど、経年劣化がひどい部分もある。当面、学校統合の対象とはしない方針であり、どういう形で施設整備を考えていくのが大きな課題である。教育委員会では部分的な改修を行っているようだが、児童クラブも含めて、引き続き整備の要望をしていかなければならないと思っている。保育所に関しては、執行者に対して地元の要望を聞くことが行政の役割であると言っているが、なかなか進展が見えないと感じている。</p>
<p>永末小学校の体育館は指定避難所であるが、条件が非常に悪い。災害はいつ起きるか分からないので条件整備は絶対必要ではないか。</p>	<p>永末小学校が狭い、エアコンが効かない部屋があるといった課題は認識している。まもなく令和5年度予算の編成時期となるが、引き続き委員会や一般質問で執行者へ問い質していきたい。</p>
<p>永末小学校の体育館は指定避難所であるが、条件が非常に悪い。災害はいつ起きるか分からないので条件整備は絶対必要ではないか。</p>	<p>災害関係は国の重点項目でもある。予算がないでは済まされないことであると思っている。</p>
<p>いろいろな小学校が休校になって少なくなる中で、どういった将来へのビジョンを持っているのか。</p>	<p>個人の考えではあるが、地域の子供は地域で育てることが基本になるのではと思っている。永末小学校に関しては、美湯ハイツに空きがある状況で今後も児童数が増加することが予測できるので、施設整備も含めて今後どのようにしていくのか、はっきりしないといけないと思う。</p>

<p>保護者の通勤の方向、例えば三次、庄原方面だと反対方向になる。勤めに行くのに便利の良いところに入所させたいという思いがあるのではないか。</p>	<p>保育所や小学校は、魅力作りをしてそこに来てもらえるようにすることが、役割ではないかと思う。魅力作り、これが一番大事ではないか。親の通勤の都合だけではない。</p>
	<p>永末保育所がへき地保育所という位置づけの見直しについては、以前からも執行者に対して言っている。未満児の保育や延長保育に対するニーズが多いが、永末保育所では対応ができない。今後も委員会などで取り上げていきたい。</p>
<p>【 庄原地域 高地区 】</p>	
<p>国道 183 号以外の小用地区にも巡回バスを拡充する対応は出来ないか。</p>	<p>小用地区の市民タクシーの利用が増えている地域（+74 人）であるので、検討していきたい。 若い世代からも買い物難民になると懸念している状況も聞いており、応分の負担をいただきながら制度の検討をしていきたい。</p>
<p>地域交通の一つである JR 芸備線の存続についてはどうか。</p>	<p>現在、広島市・安芸高田市・三次市・庄原市の市議 85 名が協議会を作って活動している。庄原市の場合は西城紫水高校生と意見交換したり、安芸高田市の高校生と意見交換などを実施し、通学に芸備線が必要であることを確認している。JR もイベントだけではなく通常利用を増やす取り組みが必要であるとしている。また、国土交通大臣や知事などの考えは、必要な区間は残し、代替交通の対応が望ましい区間は廃止の考えを示されている状況もあり、予断を許さないが、国・県、JR、自治体も一緒に取り組む必要がある。</p>
<p>【 庄原地域 本村地区 】</p>	
<p>企業誘致について、三次は選ばれ活性化し、庄原は工業団地が一杯とのこと、広げないのはなぜか。</p>	<p>市は企業誘致をしたい。土井木工跡地にウッドワンが製材を含めた木材加工に来年着手、再来年には完成する予定で進めている。以前、土地の確保というよりは従業員の確保が難しいというところで、三次に決定した企業がある。企業誘致は簡単な事ではないので、庄原市としてはしっかりやっていきたいという事で行政も努力している。</p>
<p>10 月に誘致を目的とした企業説明会をされていた。興味がある方が来られたのか。市の財政でずさんに統廃合を進められると困る。空き家などどうするのかなども総合的に考えて有効に使っていただきたい。</p>	<p>いきいき協議会、合同企業説明会、人数は把握していないが、企業が押し寄せるような傾向ではないと伺っている。市内高校生と意見交換していることも伺っている。</p>
<p>空き家対策しようにも出来ないというのは毎年言われているが、どうなっているのか。</p>	<p>空き家バンクは、庄原市総合サービスに委託している。人気の空き家はすぐに売買成立する。地域、民間で活発にされているところは、自分たちで整理して頑張っているところもある。すぐに修繕出来ないなど所有者の意向もある、帰って来られている所有者さんもいる。苦戦している。家財処分補助金、市独自施策もされている。空き家対策ネットワークも市と連携とっている。</p>

<p>空き家があっても水がない。中国道の周辺はネクスコが対応されたが、対象区域外では対応がなされていない。空き家になって使わないと水は枯れる。市の方針と住民の意見がかみあわないと感じる。行政は、空き家をなんとかしてくればかりで、水の問題はずっと言っているにもかかわらず対策されていない。総領には引けるのになぜ、この地域には引けないのか。</p>	<p>この地域に水道が引かれれないのは、ポンプなど財政負担が大きい為。住民が多いところは出来て少ないところは出来ないはおかしいと思うが、そういう現状がある。自己負担が大きい。</p>
<p>浄化槽を小用から篠津原へあげると、小用のほとんどすべてに流れるという話があったのに、なぜか止まった。ポンプを設置してタンクを据えれば良いのでは。</p>	<p>市議としてもずっと言っているけれど、庄原市は新たに水道を広げない方針になり、水道事業を広域化することが決定した。事業窓口は庄原で、職員が外向することになっているが、国の支援を十分に受けてやる方向。安芸太田町以外の県北全ての地域が参画する予定。水の確保に向けて努力して頂きたい。</p>
<p>地域では、昨年以上の猪被害が発生している。鹿の被害も報告されており大きな課題である。</p>	<p>電柵補助は予算が上限を超えると出来ない。必要な施策だと思っているので、予算を増やしてでも要望があった分はすべきと考えているので言い続ける。現状これ以上の可能な補助施策はないと思っている。</p>
<p>【 庄原地域 敷信地区 】</p>	
<p>庄原市への集客の必要性があるのではないか。上野池についても交流人口を増やすことをやっていただきたい。</p>	<p>私も同意見で、上野公園、ラ・フォーレ庄原を活かしていきたいながら、交流人口の拡大に繋げていけたらと思う。</p>
<p>ラ・フォーレ庄原について、地元住民への利用促進のために、何か特典はないのか？</p>	<p>そうしたことを提案したい。</p>
<p>区長さんから、庄原市は何のために合併したのか？何を優先的にやっていくのか。公的な部分について赤字でもやっていく覚悟が議員、市長にあるのか。</p>	
<p>【 庄原地域 山内地区 】</p>	
<p>保育所の定員の関係で、移住された方が他の保育所に行かざるを得ない状況がある。地元の保育所に入れるようにしてほしい。3月までにはなんとかしますと行政の担当の方がはっきり言われたので、間違いないと思う。何十年も前の定員が続いている。通勤などで三次、庄原を往来する方にも需要があると思う。時代の変化に応じて変えていかないといけない。議会は市民のことを考え、議論してもらえると期待している。</p>	<p>再三要望している。入りたい人がいるのだから、増やしてほしいというのは当然のこと。交渉が進んでいる。どうしたら良か行政も考えている途中。教育民生常任委員会でも説明があり、議論が進んでいる状況。</p>
<p>友人が庄原の保育所に入れたいのに、兄弟と違う保育所に行かされた。なのに、待機児童なしと言われた。市の姿勢がおかしいと思う。山内の保育所定員は来年3月までにはと言われたが、来年度までにたくさん移住され、子どもがもっと増える予定。空室もある。保育士さんたちの要望もあげている。</p>	

<p>小さな学校も大切。議員の中には多人数の教育がいいと言う方もいるかもしれない。イェナプランなどの話もある。学校がないと定住出来ない。庄原の自然の中で子育てしたい人も多くいる。無くそうばかりでなく、地域のコミュニティを無くさないように頑張っているの、対応してほしい。</p>	
<p>山内は元気な人が多い。空き家整備、遊具づくり、子どもたちと一緒に元気に活動している。駅の草刈りを年2回くらい実施し、放課後子ども教室も地域で受けている。議員も協力してくれていると思う。統廃合もショックだったが、みんな何が出来るか考え、それぞれに頑張っている。山内が大好き。年を取ったが、楽しみながら頑張っている。保育所問題も早く対応してほしい。保育士も足りない。</p>	
<p>庄原の保育所へ行けば、庄原の小学校へ行くようになる。保育所は大事。山内保育所について12月議会を出ると思う。議会の同意があれば出来ることだと思うのでお願いしたい。13年この地域で一生懸命活動してきた。庄原市が栄えていくには企業も大事だが、子どもが大事。実業高校なども他市町からたくさん来ていた。人づくりがまず大事。豊かな自然の中で子育てしたいと思う方がいる。過去の実績もあるので、出来ると思う。</p>	
<p>庄原活性化と言われるが、中高生が遊ぶところが少ないと感じる。有料の丘陵公園ではなく、回転寿司やファミレスが来ないかと思う。カラオケボックスも三次に行かないとない。庄原は芽えなと感じる。</p>	
<p>丘陵公園の駐車料金が学生は無料だが、親は有料なので特典を付けたり無料に出来ないか。</p>	
<p>賃貸でないと生活が苦しい人もいる。市営住宅を建てる計画はないのか。市民に優しいまちであってほしい。アパートを建ててほしい。電気屋をしているが、大東建託とか建ててもすぐ入る。空き家の下水設備など市の協力が必要だと思う。</p>	
<p>市の財政が厳しいのも知っている。厳しい中でも切実な意見なので、頑張ってほしい想いもある。</p>	
<p>地域の実情をしっかりと聞いてもらい、だめばかりでなく考えてほしい。</p>	<p>様々な角度でご提案をいただいた。庄原から三次へ出る方が、交通量が多い。流通がある。保育所定員増など十分議会も考え、まちづくり基本条例に沿った活動をしていきたい。</p>
<p>空き家がすごく増えている。解体費用は年金暮らしの方は本当に難しい。地域はそれをサポートしている。自治定住課も様々な補助金があるが、市内から市内の補助がない。それではよそへ出るばかりだ。</p>	
<p>【 庄原地域 北地区 】</p>	

<p>通学路安全プログラムの策定について、速度制限の設定がおかしいのではないか。警察には言っている。通学路も歩いてみたが、非常に危ない。建設課へも言っている。教育委員会等、現地確認をしていないのではないか。危ないのは国道であり、国道に車道と歩道が分離していないところがどれだけあるのか調べてほしい。ポール1本で車、歩行者、自転車が通行する場所がどれだけあるのか担当課で調べて、議会で報告してほしい。把握せずにプログラムを出すのではなく、とにかく早く把握してほしい。運転時也非常に危ない場所がある。何かあってからではいけない。</p>	
<p>【 西城地域 西城地区 】</p>	
	<p>前年度の意見・要望の対応状況の報告 市職員全体の臨時職員の割合→事務職 38 名、技術職 30 名、保育士 20 名の計 140 名。割合は、事務職系で 9.6%、保育士で 30.3%となっている。(令和4年4月1日付け)</p>
<p>【 西城地域 八針地区 】</p>	
<p>すべての活動が高齢化によって、運営が難しくなっている。早急に取り組まなければ間に合わない。</p>	
<p>議員定数の件は、人口で議員定数を決めないでいただきたい。</p>	
<p>議員さんとの情報交換がまだまだ必要ではないか。</p>	
<p>頑張った証が必要、聞くだけ・見るだけではやる気がおこらない。</p>	
<p>西城市民病院の例は、ソフトではなくハード面で整備が必要。すぐにでもやっていただきたい。</p>	
<p>生活交通体系については、庄原市も常に素早く見直す仕組みを作るべきと考える。</p>	
<p>【 東城地域 小奴可地区 】</p>	
<p>帰って3年だが、災害のため県道12号線が通行止めにより大型車が通れない、同じところがずっと崩れ続けている。寸断されているので、備北交通は通っていない。いかにも遅く、何度も工事している。交通止めの場所が、河川と崖崩れで道が狭く、現状復旧しにくい。予算を多めに付けてもらって広めに直してほしい。地権者の要望もあって出来ないが、生活のために何とかしてほしい。土木にも市長にも県にも要望を出したが、予算の関係で出来ないとされた。災害復旧しないと前に進まない。道が駄目ならトンネルを掘る、橋を架けるしかないのではないか。</p>	<p>共有山は難しい。運営管理に困難を極めている。地権者が分かればいいが、わからないと本当に困難。災害復旧工事は県、維持管理は市がやっているのではないと思う。毎年県へ県道改良の要望をあげているはず。通行止めの期間が異常に長いのは、非常に問題があると思う。</p>
<p>復旧工事の一番の問題は仮復旧だった。その後復旧工事でまた通行止め。何で一度に済ませられないのか。</p>	<p>市民が分かるように説明を求めたら、行政は絶対現場を見て話してくれる。全く無視するということはない。国の復旧</p>

<p>災害復旧にしろ、現状復旧の考え方はずっと変わらない。壊れた所しかない。制度の中なのは分かるが、コストを考えても予算を有意義に使うためにも必要なことはしてほしい。</p>	<p>工事の場合は、職員が努力してくれていても市民の声はなかなか通らない。単市の場合は市民の意見をしっかり聞いてくれるが、国の場合はコンサルなどが入ることがあるため難しい。そういう状況があることは分かる。</p>
<p>現場に一番詳しい地元の人や生活に関係ある人の意見を取り入れないと、何回工事してもだめだと思う。よくある有識者会議などは現場のことを分からないから意味がない。</p>	
<p>行政の幹部の仕組みが部長制になり、物事が早く決まらなると聞く。部長で止まると聞く。部長制を変えた方が良いのではないか。</p>	<p>行政は執行者権限であり議会は伝えるに留めることになると思うが、議会が部長制を進めた経緯もある。決裁が課長権限だと遠いので、部長制で円滑になると思ったが、いざやってみると難しい。庄原は本会議ではほとんど課長が答弁している。部長権限でしっかり発言してもらえよう仕組みにしたい。</p>
<p>県道 12 号線、国道 JR 南と西、県道は東、遠回りするとプラス 7～10 分かかる。生活、通学、救急車様々のところで影響ある。トンネルの議論はなし。予算がつかないこと、共有山があることで、これ以上の改良はないのだろうと薄々思っている。この状況なら田森の皆さんと気持ちが一致しないと思う。庄原市の課題なのに、地域の問題と切り捨てられるようなことを言われることもある。人口減少が問題。</p>	
<p>市民と語る会のような会に初めて来た。来た方が良いのは分かっているけど、まあいいかと思っていたが、こういう会があることで地元のことを考えるきっかけになって良いと思った。</p>	
<p>【 東城地域 八幡地区 】</p>	
<p>催しの参加者が増えるようにいろいろやってみたが、人も集まらず数年してから人集めにし、小学校の文化祭と同時開催にしたところ、賑やかになったが、小学校がなくなったことから、別の何かを考えてやってみたが、人が増える状況にない。</p>	<p>コロナの影響があったと考える。自分の地域は行事を3年やっていないが、本当に行事は必要なのか？やらなくてもまわるのでは？と、一歩引いて考えてみると、なぜやらないといけないのか、という意見も出てきた。自治振興区は行事をやる組織ではない。根本的にどうするのか話し合いがこの間初めて行われたところだ。現状の部についても、根本に立ち戻り考え始めた状況である。</p>
<p>現状はめいっぱいである。これ以上は無理という状況だ。なぜ人がいないのか。若い人を頼もうとすると、生活ができる給与を出さないと手がない。出来るのは年金受給者になるが、年勤が年齢で難しい。公民館時代は市の職員が来てやっていた。しかし、トータル的に人員が揃うような考え方をしないといけない。人的に確保できる地域は発展するが、できないところは消滅してしまうのではないかと考える。</p>	

【 東城地域 帝釈地区 】	
<p>コロナ対策のワクチンを確保し、接種もしっかりしていただいたと思うが、感染者が減っていく傾向はない。国、厚労省の方針、対策に添わないといけなのは分かるが、事業所や飲食店は、空気清浄機などを買わなければならないのに予算がない。会食等もしたいが、未だに集まらない。集まれる環境をつくっていただきたい。</p>	
<p>5年前、特に市道後谷線が川のように流れ、舗装が剥がれた。林道と接続しているので、利用が多い。トラックが多く、最近ほとんど鉄板を敷いていた。異常な雨が降れば、近くの業者が応急処置として砂利をひく程度の対応をしてくれるが、道路を綺麗に直して水路を作してほしい。直らなかつたらこういう会をしても意味がない。</p>	
<p>森林環境贈与税の具体的な使途を考えていないと聞いている。市長へ要望書を出している。会計検査院から全国的に要請が出ており、庄原は林業に対して、生産という立場で色々使えると思う。鳥獣被害もこの財源で対応出来る。必要な施策に資金がないからとストップしているのはなぜか。財源の有効活用を1日も早く考えてほしい。総合的に林業の施策展開を要望する。林業作業道を市でメニュー化出来るようになっているので、財源利用すべきではないか。意向調査費用を確保しているのに出来ていない。なぜ出来ないのか。</p>	<p>基金にまわすことが本当にいいのかと言っていた。林業、木材業を発展させることは決定している。比和町古頃の体験施設などあり、夢多き林業王国である。ウッドワンが土井木工の跡地を利用して製材加工を来年から正式に目指すという新聞報道があった。意向調査は進んでいない。出来るだけ早くすべきだと思う。意向のない人の山をどうしていくかが問題である。林業発展はもちろん望んでいる。</p>
【 東城地域 新坂地区 】	
<p>交通政策については、2年前から検討中ということではあるが、今日まで何も変わっていない。町内、町外で扱いが違っているのを平等にしてほしい。今の市民タクシーの方法では不便である。議員も聞いて帰るだけでなく、ちゃんとやってほしい。</p>	<p>全ての会場で生活交通の話が出る。特別委員会を作ることを考えている。</p> <p>地域（旧市町）ごとに最適な交通のあり方には違いがある。新坂に最適な交通を作るためには、地域を相当知り尽くさないとけない。そのための調査をする地域おこし協力隊の募集を提案したい。</p>
<p>合併時、地域で週に3回バスを走らせ人気があったが、人件費等の課題がありタクシーになってしまった。</p>	<p>新坂のバスは人気だったが、ドライバーの確保が難しいこともあった。担当課も地域にあった交通を作らねばとの認識を持っている。</p> <p>新坂地域で実施された Maas の実証実験はどうだったか？</p>
<p>Maas という言葉の意味自体が分からない。</p>	<p>交通と交通をつなぎ、どの交通が最短ルートで行けるかを AI によって判断し、効果的な交通を確保するものだが、システムはそこまで出来ていない。</p> <p>全体的には、個々の地域にどのような交通が合っているのか見つけなければならない。</p> <p>乗合定額タクシーも良いのではと思う。</p>
<p>タクシーについては、業者主導であり、空いている時間</p>	<p>スクールバスについては、不特定の方でなく、地域の決まっ</p>

にしか乗れない状況である。特に朝は、スクールタクシー等があり利用できない。スクールバスについても、通学が目的であることから一般市民は乗れない。スクールバスに高齢者も乗せてほしい。	た方が予約して乗るなら出来るのではないかと考える。検討してみたい。
Maas なぜ乗車率が低かったか分析してほしい。サービスを広げた結果がどうだったかも検証してほしい。	どこに問題があったかお聞きたい。
集計結果に住民の意見が載っていなかった。意見を見たい。利用率 20%に満たないので実証にならないのでは？	
東城病院には耳鼻科や眼科が無く、他所に通院するにも JR は利用しにくいダイヤとなっている。一方、バスには多くのダイヤがあり、朝出かけて 15 時には帰って来られる。自家用車がなくても暮らせる交通を確保し続けてほしい。	
市民タクシーの利用料金は高い。	一番高いところはいくらか？
片道 1000 円である。地域の実情などはあらかじめ調べた上で臨んでほしい。	
予約乗合タクシーは 9 時か 9 時半頃出発だが、もっと早くてもいい。定期的に走るバスを期待する住民もあれば、ドア・ツー・ドアがいい人もいる。	
地域にあった交通を考えないといけない。ワンコインタクシーは良い制度だと考える。	神石高原町では、以前 600 円均一料金だったが、一般財源での補填が厳しく、令和 2 年から 900 円となっている。委員会での視察では、事業実施において課題が発生した場合、臨機応変に対応し、その都度変更していくことができていることに感心した。
町内、町外で扱いの違う交通政策を平等にしてほしい。	
道路改良を進めてほしい。	
【 口和地域 口和地区 】	
木質バイオマス利活用プラント整備事業に関する広島高裁への提訴について、市は公費対応であるが相手は私費での対応となる。本日の参加議員の内、2 人が賛成しているがどのような理由で賛成したのか。また、最高裁への考えを聞きたい。	民主主義の原則から双方が納得することが大切であると賛成した。情報によると 1 月 11 日にも判決があると聞いている。今の状況を考えると最高裁への上告はないものと考えている。 司法の下で裁かれるのが裁判であると考えている。裁判中であり判決内容によって判断したい。
通学路の草刈りや除雪について、草刈りは年 2 回実施していたが年 1 回となった。道路除雪の雪が歩道に入る状況であるが、議会においても子供の安全で安心な登下校の取組みをお願いしたい。また、太陽光の収入はどのように。小学校の維持費はいくらぐらいか。	除雪については対応。太陽光は使用料が市の収入。公共施設の年間維持費は 10 億円程度。
【 高野地域 高野地区 】	
選挙の投票所は人数など制限があって今の状況だと思	公職選挙法の関係もあると思う。国をあげて投票率を上

<p>うが下高と上里原はすぐ近く。高暮の方などが上里原に投票に行くことになると思うが、果たして本当に必要なのか、一緒にすれば経費削減になると思う。選挙ポスターを貼って歩いたが、非常に多い、距離が近い、減らせないのか。</p>	<p>げようとしているので、投票所を増やす要望はあっても減らす要望はあまり聞かない。アメリカは投票所へ行くよりも郵便投票が多い。日本も市外在住は郵便投票が出来るようになってきている。</p>
<p>選挙管理委員会で投票所かけ 8 の 40 カ所。昔は投票所 12 カ所あった。区長の同意があれば減らせるが投票率が上がらないと思う。</p>	
<p>同級生や友人が地元に戻って来ない。同居しないといけない、住むところがない。高野、庄原に戻って来てもらおうと思ったら、どうすればいいのか。</p>	<p>単純に戻って来い、だけでは帰らない。都会の仕事を辞めずに帰るような仕組みを考えている。庄原、高野の良いところはいっぱいある。地元の人が気付いてないことがたくさんあるし、都会の人に羨ましく思われるよう過ぎず発信が大切だ。</p> <p>住んでいる人が楽しむ。庄原や高野が最高と思えるような町でないと子どもは帰って来ないと思う。女性やお母さんが会議やイベントに参加して楽しむことが大切だと思う。</p> <p>生活に困っている、明日食べるものに困る、そういう人に都会から来てもらおう。住宅入居待ち。空き家などに移住して来た人には野菜をたくさん持って行く、仕事をつかって庄原に住む、都会から田舎に来る時代だと思っている。</p> <p>なぜなのか、どうしたらいいかわからない。私は広島で仕事していたが、両親が高齢で長男の自分が帰るということになんの疑問も抱かなかった。少子高齢社会化が進んでいる中で、全国に誇れるような、他県他市町から人を入れたくないと思うような地域にする。そのための施策を行政は打っていかないと。孤立、孤独になるようなまちづくりをしてはいけない。若い人が多く戻ってきて頑張っている高野は素晴らしい。羨ましい。帰ってくる基盤が出来ていると思うので、もっと良くなると思う。</p> <p>自分達が住んでいるところを悪く言うのはやめよう。良いことをしていこうと仲間と言っている。未婚率も高く、国がしっかり政策を打っていかないと。家も山も親も守りたい。議員は定住対策、移住対策をしないと執行者に言っているが、議員だけでなくみんなですべきだ。我が子が都会に出ている実態がある。都会に出ることが悪いこととは思わない。</p>
<p>高暮からのトンネルの進捗状況はどうなっているのか。</p>	<p>飯南、邑南、川本、瑞穂インターと高野インターの接続、同盟会を結成して、国会議員も招いて開通を目指している。まだ具体的な話にはなっていないが、先日会議があった。議長、市長が集まり要望を続けている。</p>

<p>森林環境譲与税がどのくらいあり、どのように使おうとしているのか。木材を切って若い人に家を建てたりしたらどうか。</p>	<p>譲与税が始まり3年くらい経つが、山を守り(もり)していない都会の方までもらっている。山林所有者へどのように使えばいいかをアンケートしたり、森林の若い人たちが頑張っている。庄原で製材まで出来たら良いと思うが、木材業者から製材までしてはいけないという声もある。新聞でウッドワンが製材して、やるとの報道があった。どの程度製材できるのか不安はあるが、量が必要な産地化までするのは難しい。評価の高い檜などが庄原産として認知されれば良い。3億円か4億円くらい基金があると認識している。流通加工などをどんどんしていけばいいと思う。何か大きな事業をすることになれば、必要な資金であると思うので、基金にすることも容認している。</p>
<p>【 比和地域 比和地区 】</p>	
<p>下山トンネルは照明が暗く、運転しにくい。雨が降ると滑りやすく危ない。</p>	<p>個人的に話を聞いた。県へ働きかけをしたいと思っている。</p>
<p>比和地区は無医地区となっており、西城市民病院から出張診療に来られるが実質週3日程度しかない。常駐できないか。</p>	
<p>県道について、側溝などの溝には土砂や砂、落ち葉などで埋まっている。どこに言えば良いかわからないし、巡回パトロールの人たちは撤去してくれない。なんとかならないか。</p>	
<p>【 総領地域 総領地区 】</p>	
<p>高校存続について、「上下高校」「西城紫水高校」「東城高校」は残っていくのか?残していく必要があると考えるが、そのためにも市として思い切った対策を講じる必要があるのではないか。</p>	<p>東城高校・西城紫水高校とも、学校のみならず、地域での協議会の活動を含めて存続に向けての取り組みを進めている。</p>
<p>先般、芸備線で新見まで行ったが、列車でその日のうちに帰れないことが分かった。芸備線の存続についてどのように考えているのか。</p>	<p>芸備線は、市民の生活に不可欠な公共機関であり存続すべきものであると考える。市も存続に向け、利活用を含めて取り組みを進めているが、議員においても、沿線の議員と連携して協議会を設立するなど活動を行い、存続に向けて取り組んでいる。</p>
<p>小学生においては、野球やサッカーなどスポーツ少年団等の活動ができているが、中学校のクラブ活動については、近年、どの中学校も人数が少なく、野球やサッカーといった団体競技が出来ない状況となっている。これらの解決のひとつとして、庄原に1つのクラブチームを作るなどの取り組みが必要ではないかと考えるが。</p>	<p>中学校のクラブ活動の課題については理解している。クラブ活動の在り方についても議論されているところであるが、解決方法の一つとして、ジュニアユースクラブを作るなど、庄原市全体で考える必要があるのではと考える。総領にある総合型地域スポーツクラブなどの活動も参考となるが、地域全体を考えた取り組みが必要である。</p>
<p>「こまわり君」事業の課題は台数が少ないこと。現在、一台で運行しているが、日によっては2台必要な時もある。2台確保したいが運転手の確保も課題である。</p>	
<p>【 団体 庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会） 】</p>	

<p>大学としての取組はないが、自発的な取り組みとして地域との連携によって定住に結び付く場合もある。なんらかのきっかけがあれば交流したい学生も増えてくると考える。学生個々の興味や共通の取り組みがあれば交流も深まる。</p>	<p>地域連携という点で、県大の学生の定住について何か考えがあるか。</p>
<p>西城では「西城ブルーハーモニー」で県大生と交流している。卒業後、市内定住者もいる。100人のうち1人しか定住していないという考えではなく、100人のうち1人でも定住すれば良いという考え方を持つべきである。1人でも庄原が良いと思ってくれた方にスポットを当てるべきである。現状で頑張っている若者への取り組みを強化する事が大切である。</p>	<p>今後人口が2万人になったらどの様な対応するのか、先の対応を考えていく事が我々議員に求められている課題である。</p>
<p>外から庄原市の印象を聞くと、元気な街に見えるというプラス要素の意見をよく聞く。従来のもので無いニーズが高まっているのも事実である。不便な生活は生活力を産むこととなる。</p>	<p>小さなきっかけを積み上げていく事で大きなうねりが生まれる。</p>
<p>人口減少対策の様々な取り組みについて、行政による進捗管理および検証が必要である。</p>	
<p>移住について、どの様な暮らし方ができるのかモデル化をする必要があると思う。</p>	<p>定住の価値観はそれぞれある。永住を望んでいるわけではないケースもある。最初地域で認められない存在がいつしか認められて仕事も増えているという実態もある。やってみなければわからない。</p> <p>きっかけ作りが大切だと考える。人口減少を問題とするより、今いる市民がどの様にすれば楽しく暮らす事ができるかを考える方が重要である。情報発信の表現によって価値観が変わる。市が設定している数値については行政が管理を行うべきである。管理、検証によって次の対応がわかる。</p> <p>庄原ファンクラブの設置について、市が何をしたいのか具体的なPRが不足している。ラ・フォーレ庄原も外からの誘客のみならず、市民の活用にも力を入れるべき。</p>
<p>市民はまちづくりや人口問題に対して無関心、消極的であるという印象がある。市の状況を知らせる方法が不十分である。市民が考えるきっかけが少ない。情報共有が一番重要である。</p>	

8. その他（自由意見）

<p>【 庄原地域 庄原地区 】</p>	
<p>歴史遺産の活用に関連して、平成元年に文化財保護法が改正され、文化財の活用が可能となったが市の動きが全く見えない。庄原市にある国の史跡などもう少し活用してもらいたいと考えるが、議員にそういった意識はあるのか。</p>	<p>歴史的なものに関しては、残していかなければならないという思いが強い。一般質問でも何度も取り上げている。</p>

<p>ラ・フォーレ庄原の入浴料が700円、例えば3人で行くと3千円ださないとおつりがもらえない。新たに経営が始まり半年が経過したが、適正な経営をするために議会の関わりや姿勢について教えてほしい。</p>	<p>施設を取得するべきではないと考えていた。経営は大変大切なことなので、9月議会でも一般質問を行った。</p> <p>施設の取得には賛成であったが、どのような経営をしていくのかは非常に大切である。庄原市が取得したのだから、市民に利用してもらわないといけないと思っている。市内の他の温泉施設は利用がしやすい料金設定になっている。市民が利用しやすい施設にしていくべきだと考えている。</p>
<p>地域の歴史文化の資料を作り、活用することに取り組んでいる。市が言っている関係人口の増加のための取り組みの一つとして、観光産業に結び付ける将来的な計画を作り実施してほしいと言われているが、見えてこない。教育委員会にそういった方針がないのではないか。</p>	<p>歴史的文化財は大切な視点だと思う。地元の意見を執行者は気にしている。</p>
<p>【 庄原地域 高地区 】</p>	
<p>庄原ファンクラブを進められているが、なぜ規模や集客力を持つ飛騨を参考にして事業を展開するのか。知名度の低い佐賀県や茨城県を参考に事業展開してほしい。フグやどんぐりコロコロ豚などを実施されたが輝くものが見当たらない。指導してほしい。</p>	<p>今年予算から実施されているが未だに進んでいない状況である。やるのなら本気でやってほしいと考えている。</p>
<p>【 庄原地域 本村地区 】</p>	
<p>議員報酬はこのままでいいのではないか。副業が出来るなら若い人も出られるかもしれないが、年金ももらっている人が多いのではないか。庄原は面積ばかり広い。農業なら副業出来るかもしれないが会社員は無理、30～50歳くらいの若い人の意見を通してもらった方がいい。</p>	<p>兼業は禁止されていない。自分の事業の50%以上行政取引あれば、有益な取引はあってはならないということがあり出来ない。今期の議員には若い世代もいる。任期後に返済確約出来ないとの理由から融資を受けられない議員がいた。議員年金はない。選挙費用も必要。庄原市議会平均年齢60歳だったか、女性は4人。皆さんにご意見伺いながら協議、検討していきたい。</p>
<p>【 庄原地域 敷信地区 】</p>	
<p>市道県道の草刈りの件、県大通りは一回は刈っているのだと思うがどう思うか？（写真をまわされる）</p>	<p>声をあげていただいたので、今後対応する。</p>
<p>市道パトロールは何を見て歩いているのか？</p>	<p>道路維持でパトロールをされている。報告はされていると思うが、すぐに対応ができていない。</p>
<p>草刈りなど、地域でできるところには、地域へ出したらどうなのか。</p>	
<p>イノシシが箱罠に入り止め刺しをする人がいなくなっている。猟師の方も5,000円ではできないといわれる。</p>	
<p>【 庄原地域 峰田地区 】</p>	
<p>庄原市の将来像について、市議の意見が聞きたい。</p>	<p>旧庄原・西城・東城を核としたまちづくりを進めるという市の方針に賛成である。人口減少が確実に進む中、若い人では生まれたまちで暮らしたいという人も増えており、そうした人の受け皿をつくるまちづくりをしていくべきである。</p>

	<p>旧市町をブロックに分けてそれぞれの特徴を生かしたまちづくりをするべきである。また、オール庄原体制でみんなが同じ方向に向かって走っていかなければならないと思っている。</p> <p>ここまでは守らなければならないというラインを決めなければならぬ。最低限庄原市の機能を維持するための議論をする時期がくる。インターネットにより効率化したり、周辺部に MaaS を優先的に整備するなど、旧来の価値観ではないことが今起きているため、そういったものを十分引きつきたい。</p>
【 庄原地域 東地区 】	
自治会では、役員不足などで地域での対応に限界であり「老人会」も解散した。	市内のどこも同じ状況である。(人口減少や少子高齢化により自治会役員などに苦慮)
人口減少推計によると 30 年先の人口は半分になる。市の回覧文章も戸別配布はできないのか。	市もペーパーレス化して情報を発信している状況もある。市の広報公聴事業として、戸別配布でも実施しないと思う。
JA は令和 5 年度に合併するが、行政においては動きがあるか。	ありません。
議会は「市民と語る会」を各自治振興区単位で開催し、対象者を限定していないが、市政懇談会では参加者を自治振興区の役員に限定しているがどのようになっているのか。	議会と執行部は別々の機関であるので協議したものではない。
【 庄原地域 北地区 】	
ウッドワンが庄原に来るが、ここで働く人はどこの住民か。そこまで考えて誘致をしているのか。どこまで青写真を描いてやっているのか。	以前から話はあったが、庄原材や山の現状を踏まえ、庄原材で良いものを作ってほしいということだった。初期は市外の人であろうと思うが、将来的には地元の人を使ってほしいと要望していく。
庄原材利用は良いことだが、地元企業と市にずれがあるのは、地元で働く人がいない。ウッドワンに市民を 10 人引き抜かれるのは大変なことだ。市外の人が庄原に居ついてもらうのが良い。働く人 + 地元企業で働く人をどう確保していくか。自社でも地元の働く人が確保できない。人材確保が難しい。人材が欲しい企業あるが、人がいない。そこを考えてほしい。	庄原市の魅力を発信して庄原に来てもらわないといけない。私は一度出て、帰ってきて、地元で活動している。田舎に帰っても仕事はあり、イメージがミスマッチしていると思う。広島の地元企業の話だが、社長がリクルートしている。会社としてサポートするという熱い働きかけで、会社が住居も用意しているという例もある。実際、仕事はある。人も足りない。ミスマッチしている。出た人が帰ってきて仕事があることをしっかり発信することが重要である。生活基盤を整えることが庄原にとって大切である。帰ってきたら仕事はあると、地元の人が言うていくことが必要である。自分に関係する人が帰ってこられる環境を整えることが一番のセールスになると考えてやっていきたい。
庄原市の魅力の PR はどうやっているのか。ふるさと納税の額は 3,000 万円である。10 月 25 日に市政懇談会があった。魅力的なものがない。庄原ファンクラブ目標は 1,000 名。庄原市の良いところをアピールしないと集まらない	庄原市の発信力は遅れていると感じる。議員としても頑張っていきたいと考えている。

<p>い。三郷町は4,700人で4,000万円。庄原は3万人で3,000万円。庄原市の魅力を発信して庄原を盛り上げていかなければならない。議員全体で魅力を発信していかなければならない。良いところを見つけ、市も具体策や発信の方法を考えてやっていかないといけない。</p>	
<p>林業が庄原市にとって大きな産業になるように、西城を見習いやっていきたい。今いる子供たちが残ってくれる教育と、われわれの努力も必要だが、市外の人が具体的に何を求めてくるのか調べてほしい（企業なのか、田舎の生活なのか）。この会も、若い人が来ていない。いろんな世代から声を聴き、いろんな会を設けて頑張っていたきたい。</p>	<p>市は民間の努力を知らない。人がいない状況はかなりある。民間としてはいろいろな方策をもって努力している。民間の方が数段進んでいる。なぜ市は後押ししないのかとも感じる。</p>
<p>【 西城地域 西城地区 】</p>	
<p>ラ・フォーレ庄原の経営状況はどうなっているのか。</p>	<p>現在の稼働率は60%程度と考えている。色々な制度も活用しており、当初計画どおりに推移していると思われる。（専務に聞き取りした結果）</p>
<p>【 東城地域 小奴可地区 】</p>	
<p>議員定数、議員報酬の意見を求められても、何も知らない、たたき台もない中で意見は出ないと思う。逆に議員に質問したい。定数、報酬はどうなのか。国は地方を減らそうとしている。人口の多いところに議員が多いのが本当にいいかわからない。人の少ないところに議員がいないのはいいのか、とも思う。</p>	<p>しばらくの間、議員定数と議員報酬の議論を庄原はして来なかった。全国的に減らしている状況もある。市民の皆さんに納得いただけるような検討をしたいと思い特別委員会を立ち上げた。議員は何もしていないと言われないように活動したい。議員が出ていない地区もあり、多いところは4人出ている状況がある。自分の地域だけでなく庄原のことを考えるのだが、無投票選挙にはならないようにしたい。</p>
<p>親の免許返納を考え、地域課題、人が生活、通学する交通網がないというのは子どもたちが帰ってくるだろうかと思うので、自分たちもやることもあると思うし、議員も考え、繋いでもらって行政もしっかりやってほしい。</p>	
<p>【 東城地域 八幡地区 】</p>	
<p>自分たちがやりたいならば、自分たちが主体性をもってやること。自分たちの問題は自分たちで解決すること、それを引っ張るリーダーが必要で、それを支援する仕組みづくりが非常に大切であると感じた。</p>	
<p>【 東城地域 東城地区 】</p>	
<p>東城の河川名である「成羽川」については、国土地理院の地図で示されているが、古くは「東城川」であった。変更も可能であるようであるので「東城川」の表記に戻していただきたい。</p>	<p>以前、一般質問でこのことについては執行者にただした経緯がある。全国には変更事例があると伺っているので、神石高原町の油木地域の了解も必要であるが、方法については、改めて研究していきたい。</p>
<p>粗大ごみの回収を毎年実施しているが、毎年搬入制限の品目が増えているので対応を。</p>	
<p>防災の観点から「甌穴」の現況を調査いただきたい。（日東粉化付近と桜町）</p>	

【 東城地域 帝釈地区 】	
議員定数や議員報酬はよく分からない。議員は専門ではないと思う。無投票で決まるようになると困ると思うので、議員定数を減らして報酬を上げれば一生懸命やってくれるのではないか。自分の得意とすることに特化して、このことはこの人に聞けば良いというのがあまり見えないのでそういう活動してほしい。	
よく知っている議員もいる。地域だけでなく、市全体の事を考えてくれる人に投票したい。	
バイオマス裁判について、裁判はいずれ決着になると思うが、議員にも責任があると思うのに、誰も責任がないと言う。2億何千万がドブに捨てられた。民間だったら問題だ。責任の取り方をそれぞれ考えなければならぬのではないかと考える。このままうやむやになることを不審に思う。	控訴審が来年1月に決着になる。過去、特別委員会で議論して公表している。うやむやにすることはないので、何かしら決着や責任の取り方について皆さんにお示しすることになると思う。
【 東城地域 新坂地区 】	
中電の電源立地地域交付金を使ってほしいと毎年言っている。料金補填をそれでしてほしい。ほとんど新坂のために使われていないので、立地地域の福祉のために使ってほしい。	内容を確認し、必要に応じては質していきたい。
道路改良について、いつまで経ってもして進んでいないのが現状である。会派を超えて時間を空けずに新坂の声を汲んでほしい。	しっかりやっていく。
議員は市民の代表。力になってほしい。	
【 口和地域 口和地区 】	
粟田小学校の対応について「ごね徳」ではないか。	教育民生常任委員会として中間報告しており、現在は延期している状態である。
浸水想定区域における避難所の見直しについて議員も共有して対応を。	基本的に市が対応する必要があると考える。(東城地区は変更され少しずつ整備実施) 口和地域にも一部の地域が指定されたが避難所は見直しの必要がないと思われる。(金田)
まちづくり基本条例も制定されているが、市行政は欠落しているのではないか。	
市職員の専門性を高める取り組みを。	議論していきたい。
【 高野地域 高野地区 】	
議員定数・報酬についてのことは分からないが、検討に入ったことは分かった。	
【 団体 庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会） 】	
市の課題に対する目標は、しっかりと評価して修正等を行っていく必要がある。KPIを使ってしっかりと洗い出していきたい。	

9. 議会に対する意見・要望

【 庄原地域 高地区 】	
議員定数並びに報酬については、同等市町の状況から定数は多いと判断している。市民2千人に対し1名の議員の考え方があると思う。本市は3万2千人とすると16名の議員数となってもおかしくないと思う。他市と同じように対応すべきで、大竹市は17名である。	全国の事例も調査しているが、人口だけで決定することはできないので今後も引き続き検討していく。
【 庄原地域 峰田地区 】	
今日は目に見えるもの（資料）がない。テーマに対して目に見えるものがあれば議論ができるが、今日はないから議論できない。	今日いただいた意見や提言はまとめて、全議員、各委員会に振り分けて対応を考えたり、各議員も一般質問などへつなげて、執行者へ詰め寄りたい。
今日の話の聞いただけにしないでほしい。	
【 庄原地域 東地区 】	
報告のあった「議員定数と議員報酬」については三次市も安芸高田市も定数を減少されているので庄原市も人口が減少している状況なので減らすこと。報酬についても無投票の状況がないので減らした方が良いと思う。※衆参議員選挙においても人口で定数管理しているのが実態である。	
【 庄原地域 山内地区 】	
市政懇談会があった。人口の増加を目指す庄原ファンクラブの話があったが、そんなことで本当に増えるのか疑問。いちばんづくり課だけでなく、教育委員会や児童福祉課が本気で考えてほしい。市民生活課、社会福祉課などそれぞれの課の動きではだめ。市長の方針であれば、自分の課でどうしたらいいか考えて、全ての課が本気に考えてやらないと、いいことにはならない。熊本に半導体専門家を入れている。庄原市も専門家を入れて、本気でやっていくような教育の体制も整えてほしい。議会も協力してほしい。	
【 東城地域 小奴可地区 】	
年間何度も大雨大雪で通行止め。安全上すぐに止まる。子どもたちが迂回してバス通学している。学校再配置問題もそうだが、犠牲になっているのは子どもたちと保護者。議員にもっと知ってもらって、どうすればいいか考えてほしい。	
【 東城地域 八幡地区 】	
住民ばかり、行政ばかりでは難しい。コミュニケーションを図ることが必要。議員が架け橋になるようにしてほしい。	
【 東城地域 田森地区 】	
市民と語る会には地元で議員がいる地域では一人は地元議員を来させてほしい。	
【 東城地域 帝釈地区 】	

ラ・フォーレ庄原はまだ決算を迎えていないが、今期が終わったら、経営状況等の監査、審査をしてほしい。	
【 東城地域 新坂地区 】	
地域における交通政策の課題について、意見を聞いて帰るだけでなく、解決に向けて動いてほしい。	
市民と語る会で地域を訪れる場合、テーマについて事前に、地域のことを調査・勉強して上で臨んでほしい。	
議員は市民の代表。力になってほしい。	
【 比和地域 比和地区 】	
以前の議会報告会ではパワーポイントで説明されたことがあった。あのような形での報告をまたしてほしい。	
【 総領地域 総領地区 】	
今回、市民の声を聞きたいとのことであるが、普段、議員が自治振興区へ来られる事はほとんどない。自治振興区事務局はいつも空いているので、ぜひ立ち寄って意見を聞いてほしい。	
【 団体 庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会） 】	
この様な意見交換会を今後も持っていただきたい。100人いれば100通りの意見がある。これらの意見を議会・議員として受け止めて、市が良くなるための建設的な意見を議会でも述べて欲しい。不平不満だけでは進歩しない。	
一般質問について、その議題を深く掘り下げた質問であるのか疑問に思う。とりあえず質問したというレベルではないか。専門的な議論ができるように望む。	
議会においては細かい議論をするのではなく、明日の庄原市をどうするのかといった議論がなされる事を望む。	

10. 執行者に対する意見・要望

【 庄原地域 本村地区 】	
空き家があっても水がない。市の方針と住民の意見が噛みあわないと感じる。空き家をなんとかしてくれれば。水の問題はずっと言っている。なぜ引けないのか。	
庄原小学校の児童クラブへ迎えに行くが、雨によるグラウンドの水溜まりの解消を。靴に水が入る程なので何とかして欲しい。	
職員・議員は庄原市の顔になるので、新聞に良いことで載ればいいが悪い事で載らないようにお願いしたい。	
【 庄原地域 敷信地区 】	
保育所にしても板橋小学校にしても子供の数に対して、補助教員や用務員的な人員が足りず教員に負担がかかっている。教員に余裕を与えてほしい。	

有害鳥獣対策でイノシシを駆除してもらっているが、一頭5,000円の補助金がでている。昨年は多く捕りすぎ課税世帯になったため、もう捕らないと言われ困っている。対策はないのか？	
インボイスはやるのか？ やることによって、儲かっていないのに税金を払わなくてはいけなくなるのか？	
災害復旧が遅れている。ため池などいまだに工事が進まないが、何とかうまく回るようにしていただきたい。	
現状を良く把握していただきたい。実留の草刈り、道路拡張など要望しているが何も前に進まない。どうなっているのか。	
【 庄原地域 山内地区 】	
学校トイレの洋式化を早期にやってほしい。	市内の全学校は順次洋式化している。コロナ禍で資材が入らず工事が遅れている。
【 東城地域 小奴可地区 】	
バスで通う子は迂回で路線が変わる。高校存続のためにも東城高校に通える交通体系をきちんとしてアピールすべき。	
【 東城地域 八幡地区 】	
市の職員が地域に出てきて、地域に携わっていただくことが必要である。地域の人と話をしてほしい。	
行政と地元住民との交流を深めることが必要。	
【 東城地域 田森地区 】	
子どもたちは、一人一台タブレットが持たされている。宿題も、タブレットでの宿題と紙での宿題の2種類がある。現在、この地域では子ども教室を職員住宅の一室で行っているが、オンライン環境が整っておらず、タブレットによる宿題が出来ない状況である。全ての宿題を子ども教室で出来るように、オンライン環境を整えてほしい。	
【 東城地域 帝釈地区 】	
帝釈駐車場の川側にフェンスがなく、非常に危ない。小さいお子さんは落ちる。観光地として、高齢者のギア操作事故も想定すべきである。トイレマークがない。帝釈～下帝釈間の案内がなく、よく聞かれる。観光客に親切な看板を設置するなどした方がいい。	
【 東城地域 新坂地区 】	
行政区（常会）の再編について方向性を示してほしい。	
スクールバスに高齢者も乗せてほしい。	
Maasの実証実験の集計結果に住民の声がなかったのぜひ聞きたい。詳しい分析検証もお願いしたい。	

【 口和地域 口和地区 】	
芸備線存続の方向性は、存続活動に関するイベント経費が膨大である。	
【 比和地域 比和地区 】	
バスの時刻について、自治振興区毎に実態と希望に関するアンケートをしてみしてほしい	
比和支所の駐車場は、側溝があり車を落としそうで危ない。車止めを設置するなど、なんとか対策をしてほしい。	

11. 市民と語る会の検証結果

(1) 開催会場の設定数について

【実施状況】

- ① 自治振興区 21会場（庄原8・西城2・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1）
- ② 団体 1会場（庄原の人口問題をとことん考える民間会議（ひと部会））

検証結果

- ① 自治振興区 21 会場を設定し、全地域で開催することが出来た。今後も引き続き、全 21 会場での開催を目指して自治振興区と協議を重ね、連携を図っていく。
- ② 市内で事業活動等行う団体（以下「団体」という。）を対象に、市民と語る会の開催希望を募集した。概ね 5 人以上の団体で 3 団体を先着順とし募集した結果、1 団体の申し込みがあった。3 団体の開催を目標として設定した取り組みは適切であったが、様々な条件での開催を目指していくうえでは、少人数でも開催を希望する団体があれば、引き続き、議会として応えていく。

(2) 開催時期等について

【実施状況】

- ① 開催回数 年 1 回
- ② 開催時期 11 月 1 日 ～ 11 月 18 日（9 月定例会終了後）
- ③ 開催日時 平日の 19 : 00 ～ 21 : 00（3 会場は 18 : 30～20 : 30）
- ④ 日程調整 班の代表者と自治振興区等の代表者で協議し決定

検証結果

- ① 昨年同様、開催時期を11月に設定し取り組んだ。農繁期も終わり災害等もなく、各種行事やコロナの感染状況も比較的落ち着いた時期で、適切な時期での開催であった。意見交換会形式であるため、開催時期は年度内で柔軟に設定できると考えられる。ただし、11月開催で計画から実施へ向けてのスケジュールを勘案すれば、開催回数は現行どおり年 1 回が適当である。
- ② 平日を基本に、昼間・夜間を問わず 2 時間以内で日時設定する計画としたが、日程等の設定は自治振興区等との協議により、概ねこれまでどおりの平日夜間の開催となった。

(3) 実施内容等について

【実施状況】

- ① 意見交換テーマは、班の代表者と自治振興区等の代表者で会場毎に協議し決定
- ② あらかじめ共通テーマを設定（①庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画 ②JR芸備線）
- ③ 参加者を対象にアンケートを実施

検証結果

- ① 独自の意見交換テーマを設定する会場も多く、活発に意見交換を行うことが出来た。ただし、会場によっては、テーマ

設定の内容や趣旨、設定の経過がわからないという意見もあり、自治振興区の協力を仰ぎながら、広く周知していく必要がある。

- ② 共通テーマは、市議会として取り扱わなければならない市政のテーマを選定して、今後も設定していく。
- ③ 参加者を対象にアンケートを実施し、昨年より多くの方に回答いただいた。（回答率96%。傍聴議員は除く）語る会の開催に対する意見や市政・議会運営に対する意見など多くあり、今後の取り組みの参考とするため、引き続き実施していく。

（４）班編成について

【実施状況】

- ① 議長を含む5人単位で4班編成（常任委員会単位）
- ② 全体21会場を1班が6会場、2～4班は5会場担当（団体等は希望数に応じて2班から順に担当）

検証結果

- ① 議長を含む5人単位の4班編成とし、議長公務により議長が欠席となる場合は状況に応じて対応することとして、班編成を行った。5人単位の班編成は運営や進行もスムーズに行うことができ、適切であった。コロナに起因する班員の欠席者が出たため、班によっては班員の人数が少なく、他の班員の応援で対応した会場もあった。このような対応は初めてであるが、例外と思われ、今後も班編成は現行どおりとする。
- ② 昨年は改選後初の開催で、新人議員や委員長の割り振りを考慮したが、今回は常任委員会単位を基本とした従来のくじ引きによる班編成を行った。班の担当は、これまでどおり1班が6会場、その他は5会場、団体等の担当の順も現行どおりとする。

（５）運営等について

【実施状況】

- ① 役割分担は各班で決定し、記録は、班員（記録者）による要点記録とする
- ② 時間配分は2時間以内とし、各班で時間配分を決定
- ③ 次第は次の流れで実施
受付（アンケート配付）⇒開会（挨拶）⇒趣旨説明等⇒意見交換・懇談⇒閉会（挨拶）
⇒アンケート回収
- ④ 配付資料は各班で準備

検証結果

- ① 役割分担、時間配分は各班で決定し対応した。記録は要点記録とし、1週間の提出期限を設けているが、開催日が連日続く班もあり、記録者の負担が多かった。このことから、記録者を1人に固定せず、会場毎にするなど、班で臨機応変に対応することも検討していく必要がある。
- ② 会場毎にテーマ設定を行ったため、会場によっては挨拶等兼ねて、自治振興区からテーマ設定の趣旨やそれに伴う自治振興区の現況などの説明を行っていただいた。次第に沿って概ねスムーズな運営が出来た。
- ③ 配付資料は各班で対応することとしており、レジュメのみ準備した。レジュメ以外の資料の有無は班により異なるが、資料がないとテーマに関する状況がわからず発言しにくい、という意見は昨年も今回も多くあった。総合的に考えると

資料はある程度必要であるということになる。

- ④ 議員手持ち資料として、テーマに関する各種計画書や報告書、広報等資料を準備したので、大いに活用できた。
- ⑤ 会場レイアウトは、教室形式の会場が多いが、口の字形式で全員が顔を見合わせ発言できるようなレイアウトの会場もあった。コロナ感染防止対策も今後は変化していくと思われ、自治振興区等と調整を図りながら、より有効なレイアウトで実施していく。

(6) 周知方法について

【実施状況】

- ① 行政文書（10/20発行 全世帯へ開催チラシを配布）
- ② 住民告知放送・市議会ホームページへの掲載
- ③ 議員の積極的な働きかけとSNS等の活用

検証結果

- ① 11月の開催時期に合わせて、10/20行政文書により全世帯へ開催チラシを配布するとともに、自治振興区にも開催チラシを送付し協力を仰いだ。
- ② 住民告知放送は開催日の前日夜、当日の朝を基本として、該当地域で放送を行った。市議会ホームページへ各地域の開催日、テーマ等掲載し周知するとともに、SNS等を活用するなど、議員による積極的な発信を行った。
- ③ 上記の周知方法を含め、他の有効な方法について今後も検討し、活用していく。

(7) 新型コロナウイルス感染防止対策

【実施状況】

- ① 消毒液の設置、座席間隔の確保、マスクの着用（発言はマスク着用で行う）
- ② 手指消毒、咳エチケット及び検温への協力と参加者名簿への記入を参加者へ依頼

検証結果

- ① 感染防止対策に参加者全員のご協力をいただいた。

(8) 災害等による開催可否の対応

【実施状況】

- ① 災害等による開催可否の判断は開催時間の2時間前に決定するとしていたが、該当する会場はなかった
- ② 延期・中止等の対応をあらかじめ調整しておく

検証結果

- ① 災害等もなく、開催可否の判断が必要な会場はなかったが、開催時期により対応が必要となるため、引き続き、自治振興区等と連携を図り、調整を行っていく。

(9) 報告及び公表

【実施状況】

- ① 語る会の実施内容は、議員全員協議会において班の代表者より報告を行い、議員間で共有・意見交換を行う。
- ② 語る会の成果や効果、今後の課題等を検証
- ③ 語る会で出された市民の意見・要望等への対応は、一般質問や所管事務調査及び予算審査等に活用した。
- ④ 最終報告書は市議会ホームページへ掲載
- ⑤ 語る会の実施概要は、しょうばら市議会だよりへ掲載（2/20発行）

検証結果

- ① 各会場での実施内容について、議員全員協議会で班長より概要報告を行い、議員間で情報共有・意見交換を行った。
- ② 各班の報告書は記録者において整理し、班内で内容確認を行った後、速やかに議長へ提出された。この報告書とアンケートをもとに、「班別報告書」「参加者アンケート集約」に取りまとめ、各会場での参加状況、意見交換内容、質疑、市政・議会への意見・要望などを可視化して、議会運営委員会・議員全員協議会において検証を行った。
- ③ 語る会は意見交換を主とするものであり、その場で出された要望等について答弁を行った内容は個人の見解も多く、語る会での発言に留め、議会としては対応しないが、会場で出された様々な意見・要望は、委員会で取り上げるべきものと判断すれば委員会へ諮って対応し、議員個人として扱う必要があるとすれば一般質問や予算審査等で取り上げていく。これまでの対応方針に沿って、今後も引き続き取り組んでいく。
- ④ 最終報告書は市議会ホームページへ掲載するとともに、自治振興区等へ送付し、今年度のまとめとした。
- ⑤ 語る会の開催状況、意見交換の内容を抜粋して、2/20発行のしょうばら市議会だよりへ掲載した。
- ⑥ 開催時期により、市議会だよりへの掲載時期の見極めが必要であり、その都度広報委員会へ諮り検討する。
また、語る会で出された意見・要望等について、委員会活動や一般質問等で取り上げた内容は、適宜、市議会だよりへ掲載し公表していく。

(10) その他（語る会の留意事項等）

【実施状況】

- ① 意見交換に重点を置いた内容とし、一議員として、テーマや意見交換での発言を積極的に行った。
- ② より多くの参加者が発言できるよう配慮した。
- ③ 議会に対する意見・要望には結論を出さず、市民意見の聴取を目的とした意見交換に努めた。
- ④ 執行者に対する意見・要望にも、執行者に代わって受け付けられない対応とした。
- ⑤ 議員派遣手続きを行った。

検証結果

- ① 語る会は市民と議員の意見交換に重点を置いた内容で実施するものである。昨年同様、語る会では、一議員として、設定されたテーマや意見交換での発言を積極的に行い、市民との意見交換を活発に行うこととして取り組んだ。

- ② 参加者の発言は、より多くの方が発言できるよう、進行役が振り分けや調整を行ったが、会場によっては同じ方が何度も発言されることもあり、運営上苦慮した。
- ③ 参加者から、議会に対する意見・要望や質問等あった場合、それに対する回答や結論を出すのではなく、市民意見の聴取を目的とした意見交換に努めた。
- ④ 執行者に対する意見・要望等は、市民の多様な意見を把握する手段として聴取に努め、執行者に代わって受け付けることなく、今後の議会としての意思決定に反映させていくこととした。
- ⑤ 公務であるため、議員派遣手続きを令和4年9月定例会において行った。